

# True Peace

天國 10年  
天曆 07  
2022年 陽曆8月





# お父様に会いに行こう！

朴榮培 神韓国共同大陸会長



2022年7月3日、天一国10年天曆6月5日、真のお父様天宙聖和10周年聖和祝祭勝利のための40日特別精誠出征ビジョン2027勝利のための神韓国指導者特別集會を、釜山教會で持つことができ心から感謝いたします。天地人真の父母様は、一心、一体、一念、一和の土台の上で、基元節を宣布され、天の父母様の下、人類一家族の理想世界である天一国を開門され、真のお母様は真のお父様の天宙聖和以降、生命が尽きる日まで、この地に必ずや天一国を安着させるという決意とともに、実体天一国安着のための天宙的7年路程を通した7カ国の国家の復歸と7つの教團復歸による天一国安着を勝利完成されました。

このような実体的勝利の土台の上で、神統一世界安着のための第2次7年路程を出発された真のお母様の前に、全世界の天一国の指導者と祝福家庭は、絶対信仰、絶対愛、絶対服従の実践躬行と、世界の為政者たちによる天地人真の父母様への絶対支持により、檀君以来最大の行事であった南北共同修交国157カ国が共にした、2022韓半島平和サミットの大勝利へとつながり、統一の母、平和の母としての位相と価値は、全人類の母として位置づけられるようになりました。2023年5月5日の天苑宮奉獻は、天地人真の父母様の権勢であることを確信させていただいた天の父母様に感謝します。真のお母様の世界摂理は、アフリカユニオン、アジアユニオン（アセアン、アセムなど）が、世界を動かす動力となりました。

陽曆7月3日から8月11日まで、40日の特別活動を始めます。真のお父様の天宙聖和10周年の意味を振り返って、40日の特別活動を「お父様に会いに行こう！」というテーマで、失われた子女を探し出して抱きたいという真のお父様の切実な心情を子女が代わって、家庭連合の会員、摂理機関の指導者と会員を訪ねて行って、真の父母様の懐に戻って来れるようにする特別尋訪および特別相談を展開していきます。真のお母様に侍って、天宙聖和10周年記念40日特別精誠と特別活動の出征礼拝を捧げられることに感謝、感謝、感謝いたします。

陽曆7月3日から8月11日まで、40日の特別活動を始めます。真のお父様の天宙聖和10周年の意味を振り返って、40日の特別活動を「お父様に会いに行こう！」というテーマで、失われた子女を探し出して抱きたいという真のお父様の切実な心情を子女が代わって、家庭連合の会員、摂理機関の指導者と会員を訪ねて行って、真の父母様の懐に戻って来れるようにする特別尋訪および特別相談を展開していきます。真のお母様に侍って、天宙聖和10周年記念40日特別精誠と特別活動の出征礼拝を捧げられることに感謝、感謝、感謝いたします。

真のお母様は、ビジョン2027勝利のための神韓国指導者特別晚餐で、貴いみ言をくださいました。すべての地域の面や村に入って行き、人々を教育して、天の父母様を見ることができる環境圏を造成し、この韓民族を天の父母様の下、天の父母様聖会の下で、感謝の気持ちを忘れずに、5地区全体の人々すべてを教育するよう語られました。

60ヵ月の大長征大勝利を成し遂げなければならない天宙的使命を受けました。光明たる新しい朝が明け、夜には見えなかったものがすべて見える時代になりました。天地人真の父母様が直接治める時代を迎え、天一国の指導者と祝福家庭全体が、時代的な恩恵を受けられるように天の父母様が役事して下さることを信じます。みんなで前進しましょう。☞

## CONTENTS



### 巻頭言

- 02 お父様に会いに行こう!  
朴榮培 神韓国共同大陸会長

### 真の父母様の動静

- 07 ビジョン 2027 勝利のための  
神韓国指導者特別晩餐会
- 11 真のお父様天宙聖和 10 周年  
聖和祝祭勝利のための  
40 日特別精誠出発  
ビジョン 2027 勝利のための、  
神韓国指導者特別集会

### 世界本部長のメッセージ

- 15 真のお父様聖和 10 周年勝利のため  
の 40 日特別精誠を出征して  
尹煥鎬世界本部長

### 全世界 40 日特別精誠の出征

- 16 神韓国特別大陸 1 地区神京仁国  
18 神韓国特別大陸 2 地区神京原国  
20 神韓国特別大陸 3 地区神忠清国  
22 神韓国特別大陸 4 地区神全羅国  
24 神韓国特別大陸 5 地区神慶尚国  
26 神日本  
29 神北米

### 真の父母様のみ言

- 04 天一国定着と安着  
天聖經 第十二篇 第二章 第四節

- 06 天の父母様の完全な祖国と  
なることができるよう、  
責任を果たそう  
ビジョン 2027 勝利のための神韓国指導  
者特別晩餐会

- 09 天の父母様の夢が叶う時代  
真のお父様天宙聖和 10 周年聖和祝祭勝  
利のための 40 日特別活動出征  
ビジョン 2027 勝利のための神韓国指導  
者特別集会

- 31 神ヨーロッパ  
33 神アジア太平洋 1  
35 神アジア太平洋 2  
37 神中米  
39 神南米  
40 神アフリカ

### 真の父母天宙聖和 10 周年記念

- 42 真の父母様の生涯年表

### 現場特集

- 51 加平郡「平和路」名誉道路名  
除幕式



# 天一国定着と安着



天一国は神様の国です。神様の国は不変であり、絶対的です。神様の属性は、絶対、唯一、不変、永遠です。そのような四つの属性があります。誰もそれを変えることはできません。一旦定着すれば永遠です。今、墮落世界の方向は多様です。神様の創造理想は、一つの伝統的な人類歴史です。それが神様の本然の理想です。

天地父母統一安着宣布です！安着は、定着して生活を始めることです。その次に安息圏です。すべてのものが休むようになります。天の国の理想圏に酔いしれて暮らすのです。争いや不足がなく、天上世界の環境的条件に歩調を合わせ、永遠に生きるのです。安息圏がそうなのです。ですから、どのような立場にいるのか知らなければなりません。天一国主体国勝利圏解放時代です。

今、天の国がありません。先生を通して神様の王権を樹立し、神様祖国定着大会を行って、天宙平和統一国、天一国を宣布しました。今から定着時代に入ります。定着ではなく安着です。定着は目的を見つめて行くべき道がありますが、安着は到着して休むことを意味するのです。神様の王権安着、神様の祖国安着、神様の天一国安着時代を迎えるためには、「私」の体と心が闘ってはいけません。一つにならなければなりません。

皆さんの体、心も二人です。一つにならなければ、天一国の民になれません。天国が漠然としていたというのです。個人の体と心が闘っていては、個人から国を完成することができません。「天一国」と言えば、個人において体と心一つになり、夫婦が一つになり、父母と子女が一つになり、兄弟が一つになり、家庭が定着するのです。それが一つにならなければ、定着はありません。

自由と平和と幸福の天一国の定着ではなく、安着です。定着は、動いて目的地を訪ねていき、とどまることを言いますが、安着は、定着したので今から生活を始めることです。定着をするときは、個



花々に囲まれて微笑まれる眞の父母様

人の体と心一つになり、夫婦が一つになり、父母と子女が一つになり、その次に兄弟が一つにならなければなりません。ここで父親が抜けても、母親が抜けても、息子が抜けても、娘が抜けてもいけません。父子関係は、そのようになるのです。その次に、子女が祝福を受けて夫婦関係を結び、息子、娘を生んで定着します。三代を経てこそ、定着するのです。

天一国の次に、自主国です。自主国であると同時に、主体国と言ってもよいのです。自主国勝利圏解放時代なので、主体国天国時代だということです。天一国は、主体国解放時代であり、その次に円一統一時代です。根本に帰ります。円一

統一時代です。再び、「私」が合わせなければなりません。統一しなければならぬのです。神様が統一してくれるのではありません。

今や最後の時です。それで、天一国と自主国勝利圏、主体国勝利圏です。神様を中心とした自主国勝利圏、また再臨主を中心とした自主国勝利圏というのは、主体国勝利圏です。神様が本来の中心である、主体国勝利圏解放時代です。その解放時代になったので、円一、根本である統一世界に帰っていくのです。これが最後です。☞

このみ言は、天聖経 第十二篇 第二章 第四節を抜粋したものです。

# 天の父母様の完全な祖国と なることができるよう、責任を果たそう

ビジョン2027勝利のための神韓国指導者特別晩餐会  
天一国10年 天曆6月4日(2022.7.2) | パラダイスホテル



天の摂理の完成のために向かっています。この国が天の父母様の祖国としての責任を果たさなければなりません。天の父母様を地上にお迎えすることができる、天苑宮天一聖殿を天の前に奉獻し、実体的に天の父母様が運行なさることのできる、環境を作っていく上で、この民族が知るべきであり、責任を果たさなければなりません。そのためには、皆さんが教えてあげなければなりません・

天の父母様、真の父母様に侍る民となり、天がこれまで、この韓民族を守ってくださった、その恩恵に対する感謝の気持ちで、天の父母様の、完成した、完全な祖国となることができるよう、責任を果たす、5地区の皆さんとして、出発してくださることをお願い致します。

感謝の気持ちを忘れないください。感謝!何事にも感謝。そのことを、5地区の民すべてに教育して下さい。分かりましたか? (はい)

# ビジョン2027勝利のための 神韓国指導者特別晩餐会



天一国 10年 天曆 6月 4日 (2022.7.2)、ビジョン 2027 勝利のための神韓国指導者特別晩餐会が、釜山・パラダイスホテルで行われた。

40日特別精誠出征を控え、いつの時よりも深刻な心情で、釜山に訪れられた真の父母様。しかし、そのようなそぶりも見せられず、温かく穏やかな笑顔を浮かべられ、参席した指導者たちは、その愛を感じ、幸せな姿を見せた。

真の父母様が入場され、皆が礼を捧げた後、全体を代表し、神慶尚国の朴榮培会長夫妻が花かごを奉呈し、礼物奉呈が続きました。その後、文妍娥 UPF・韓国議長の先唱で、勝利提議が行われた。

晩餐に先立ち、真の父母様は、神慶尚国の 88 人の公職者に服をプレゼントされ、映画「トップガン」を觀賞する機会を下された。晩餐後、映画の感想を発表しながら、指導者のリーダーシップに対するインスピレーションを分かち合い、決意する時間が持たれた。

指導者たちの報告の後、真の父母様は、愛のみ言をくださり、何事にも、感謝の思いで、臨むことを強調された。

真の父母様の限りない愛に、感謝の気持ちを伝え、参加者全体で、「オンマヤ、ヌナヤ」を歌いながら、2027の勝利を誓った。🏳️



- 1 特別晩餐会に到着された真のお母様
- 2 全体を代表して朴榮培会長夫妻が花かごを奉呈している姿
- 3 勝利提議の後、真のお母様とグラスで乾杯を交わす場面
- 4 勝利提議のために前に立った文妍娥議長
- 5 地区のイスウォンYSP会長が、映画トップガンの感想発表後、指導者たちと歌を歌っている



# 天の父母様の夢が叶う時代

真のお父様天宙聖和10周年聖和祝祭勝利のための40日特別活動出征  
ビジョン2027勝利のための神韓国指導者特別集会  
天一国10年天曆6月5日(2022.7.3) | 神韓国・第五地区本部 釜山家庭教会



愛する全世界の統一家の祝福家庭、食口の皆さん！

いま私たちは、天の父母様の夢が叶う時代に生きています。真の父母様の苦勞によって、来年5月には、天の父母様に直接侍ることのできる天苑宮・天一聖殿が奉獻されます。天一聖殿の摂理が出発するその日のために、今まで天の保護と愛の中で、全世界の善なる民たちは、どれほどこの一日を待ちこがれて来たのか分かりません。より一層、天の父母様の夢を地上で成就して差し上げることのできる、特に、真の父母が地上にいらっしゃる間に、天の父母様は子女たちとともに天一国を設計して行くでしょう。

終わりの日をよく整理してこそ新たな日を迎えられる

今まで墮落以後の人類歴史は、無知と苦痛の中で流れてきました。天の父母様は、愛する子女のために天地万物を創造し、永遠性を祝福されましたが、その自然をたくさん壊しました。

自然が人間によってたくさん破壊されることにより、今日の気候変動が原因となって、いろんな面でもとてつもない被害を被っています。

このように進んでいくと、「人類の未来がない」ということになります。地球の未来がなくなれば、人類の未来もなくなるのです。もっと遅くなる前に、全世界の統一家の祝福子女たちは、地上にいらっしゃる真の父母とともに、この難問題を直接解決していかなければならない時点にいます。

私は言いましたね。「人類歴史、摂理歴史の終着点、終わりの日になった」と。終わりの日をよく整理しなければ、新しい日を迎えることができなくなるのです。

巨済島とピースロードのビジョン

私は、この慶尚国の訪問を決心しました。この前、ピースロードの大事業が巨済島で開かれたと思います。巨済島は、韓

日海底トンネルができれば、関所となる場所でもあります。

私は皆さんにお願いします。ずいぶん前に、第5地区が勝利をおさめて、全国へ巻いて上がっていきなさいと言いました。そのひとつの例として、巨済島から出発したこのピースロードを、各地域で「平和路」、「ピース路（ピースストリート）」の名を付け、全羅道を経て、忠清道、神京原国を経て、第1地区・京仁国を経て、天苑団地を通過してDMZに直行し、北に行くことのできる平和道路の名を付けていくように願います。（拍手）

私は、アメリカの教会を巡回した時、シカゴのバレット牧師の教会に行ってみ言を語り、そこに家庭連合の旗を初めて掲げるようにしました。ところでその牧師は、地域で尊敬される立場だったので、牧師の名前を取った「バレット路（バレットストリート）」がありました。そのように、神統一韓国に進む道において「神平和路」が南から北に続くようになれば、どれほど良いでしょうか。（アーヂュ）

#### 宗教の終着点は真の父母

皆さんも、夢を大きく持つようにお願いします。この民族が責任を果たす位置、完成を見る位置に立てるように教育する人は、皆さんです。多くの宗教がありますが、その宗教の終着点は、地上の真の父母です。真の父母に出会ってこそ、そのみ意と夢を成就することができるのです。墮落した人類が、創造主・天の父母様の前に進み出る子女の位置に立つためには、真の父母を通じて生まれかわる、祝福を受けなければならないのです。分かりますか？（はい）

このようなどてつもなく大きな武器を持っているのに、どうして皆さんは活用できないのですか？ どうしてキリスト教の門を開けることができないのでしょうか？ 人類が行くべき道、すべての宗教が行くべき道は、天の父母様に出会わなければならないことです。

特にこの韓民族は、真の父母を誕生させ、保護してきました。皆さんも経験した人がいるでしょうが、6.25 動乱が起きてから72周年になりました。なぜ、韓民族同士が二つに分かれて戦争するようになった時に、世界から国連軍が同参することができたのでしょうか？ 人間の力ではありません。天の父母様が保護されたからです。

天の父母様は、地上で真の父母と、子女たちと共に、地上天国の生活を実際にされるのが夢でした。そのために、墮落した人類を捨てることができずに、救援摂理歴史を進められました。2000年前に、イスラエル民族（ユダヤ民族）を通じてイエス・キリスト、「唯一、私の息子」だといえる、独り子を送っていただきました。しかし無知なる人類は、独り子がどんな使命を果たさなければならないのかを知らませんでした。周辺の人々も分かりませんでした。天の事情と、天の摂理が分か

らなかったのです。

その選ばれた国がその責任を果たせなかったとき、途方もない蕩滅を受けた例を、皆さんは知っています。

#### 天の父母様と真の父母を中心に迎えないといけない

これから皆さんは、これ以上ためらってははいけません。天が保護する中で、真の父母をこの民族に誕生させたのです。この国の民と政治家たちは、中心に真の父母をお迎えし、天の摂理を奉じなければならないことが、分かりますか？（はい）

天に侍る立場で、真の父母を中心に迎えて出発しなければなりません。しかし、そのようになることができなかった結果を、私たちは見えています。

この民族が途方もない蕩滅を受けるかもしれない状況が見えるならば、じっとしていられるでしょうか？それで私は、あらゆる町や村の人々を教育しなさいと言いました。特に、慶尚道と全羅道はいがみ合っています。なぜ、そうしなければならないのでしょうか？ 天の父母様と真の父母様に侍れば一つになることができるのに、人間中心に考えるから、個人も国もうまくいかないのです。

#### 天の父母様の祖国として責任を果たさなければならない

この民族は、天の父母様に侍る、天の父母様の祖国としての責任を果たさなければなりません。そうして世界の前に見せてあげなければなりません。天は6000年間この日を待ってこられました。それを皆さんは知らなければなりません。真の父母が地上にいらっしゃる間に、天の父母様に侍る立場で、この民族は責任を果たさなければなりません。この民族の責任は神統一韓国です。神統一韓国！

ひとつの国が正常な先進国の隊列に進み出るようになるためには、少なくとも人口が1億人は越えなければなりません。韓国の人口だけではだめであり、北朝鮮の人口でもだめです。合わせるようにして、1億を越えなければなりません。分かりますか？（はい） そのようになれば、一番近い国々が、韓国を無視することができません。実体で真の父母に侍り、進み出るにあたり、天がともにいらっしゃるからです。

昨日私が指導者の前で寓話を話しました。笛吹き少年が笛を吹くと、すべての動物が出てきて踊り始めます。自然にそのようになります。真の父母に侍って進む皆さんの前に、天がともにいらっしゃることによって、善なる者たちがみんな群がって来るという話です。分かりますか？（はい）

「誇らしい天一国の指導者であり、天寶家庭であり、民である」ということを、この民族の前には勿論のこと、世界の多くの国々の前に誇ることでできる皆さん全員になることを願いながら、きょうのみ言とします。（アーヂュ）

# 真のお父様宇宙聖和10周年聖和祝祭 勝利のための40日特別精誠出発

## ビジョン 2027 勝利のための神韓国指導者特別集会

天一国 10 年天曆 6 月 5 日 (2022.7.3)、「真のお父様宇宙聖和 10 周年聖和祝祭勝利のための 40 日特別精誠出征：ビジョン 2027 勝利のための神韓国指導者特別集会」が、神慶尚国本部釜山教会大聖殿で「天地人真の父母様の聖寿無疆と文鮮明天地人真の父母宇宙聖和 10 周年勝利、教会から足が遠のいている祝福家庭、二世・三世の子女復帰および摂理機関会員（平和大使などの VIP）定着」を目的に開催された。今回の特別集会は、実体聖霊の真のお母様をお迎えし、真のご家庭、世界本部長、秘書室長、摂理機関長、神韓国共同会長、世界本部役員、神韓国大教区長および大教区中心食口、神慶尚国指導者 500 名が参加する中で、恩恵の中で行われた。

今回の特別集会は文鮮明天地人真の父母宇宙聖和 10 周年記念諸行事が「平和と統一の先駆者、文鮮明」を公式主題として、意義深く準備されている中で、10 周年の意味を振り返りながら家庭連合、UPF、女性連合、YSP と因縁を持つすべての人々が「アボジに会いに行く心情」で参加することができるようにするために、40 日特別活動および精誠 (2022.7.3. ~ 8.11.) を皮切りに、天地人真の父母様をお迎えし、「第一部特別集会」および「第二部出征式」を挙行することになった。

特別報告および出征式を始める前にオープニング公演として、祝福家庭として北釜山教会長老として文化で教会の実勢化を実現している、歌手ナ・ヒョンジェの公演が繰り広げられた。

### 第一部 特別報告

司会者尹煥鎬 (ユン・ヨンホ) 世界本部長の開会宣言で「第一部特別報告」が始まった。

挨拶は鄭元周 (チョン・ウォンジュ) 総裁秘書室長が行った。真のお父様聖和 7 周年「真のお父様に送る書信」を訓読し、来る文鮮明天地人真の父母宇宙聖和 10 周年を迎えるにあたり、真のお父様に対する真のお母様の心情を考えながら心を整理する時間になった。

続いて尹煥鎬世界本部長の講話および特別報告の時間があつた。真のお母様の聖和後、去る 10 年間、真のお母様が成し遂げられた業績の摂理的意義について発表し、「アボジに会いに行きましょう！」という主題で行われる、「文鮮明天地人真の父母 宇宙聖和 10 周年記念聖和祝祭」を控え、この日から 40 日間、世界で特別 40 日精誠を捧げるこの出征の意味を詳細に報告した。



## 第二部 出征式

「第二部出征式」は司会者尹煥鎬世界本部長の開会宣言後、すぐに真の父母様が入場された。

皆で天の父母様と天地人真の父母様に敬礼を捧げた後、真の父母様に花束を奉呈した。花束奉呈は、神新韓国共同会長、李現榮（イ・ヒョニョン）、金東宴（キム・ドンヨン）、趙萬雄（チョ・マヌン）、チェ・ヨンソン、イ・ジェドゥ慶尚南道議員、チェ・ジュンギユ居昌（コチャン）郡議員および神慶尚国の二世・三世の聖和子女 8 人が精誠を込めて奉呈した。

礼物奉呈は神慶尚国、イ・ギシク、チャン・ドクボン、ユ・ジュンス大教区長、パク・ソンヨル、チョン・ボンチェ、パク・ボムジュ、大田口静枝、パク・ジョンウク、川口千奈美梁山教会長家庭が精誠を込めて準備した礼物を真の父母様に奉呈した。

続いて、真の父母様をお迎えし、釜山を訪問され、特別集会および出征式を直接主管して下さったことに感謝を捧げ、ケーキカットを行った。

また、朴榮培（パク・ヨンベ）神韓国共同会長の報告祈禱が行われた。この日の特別集会を通じて、実体聖霊の驚くべき恩恵で生まれ変わらせてくださることを信じ、40 日の特別活動期間、「真のお父様 天宙聖和 10 周年」の意味を振り返り、失われた子女を再び探し、抱きたいとされる、真のお父様の切実な心情を、子女たちが代わって、真のお母様の懐に戻って来ることが出来るように全力投球することを誓い、懇切に報告祈禱を捧げた。

続いて、真の父母様が神慶尚国の村々で教育し、真の父母様を伝え、祝福された選民としての使命を果たし、神慶尚国から DMZ までのピースロードを通じて神平和路を命名し、巻き上げることを願い、貴いみ言を語って下さった。

出征式は参加者全員の思いを集め、神韓国共同大陸会長が代表として、力強く決議文を朗読し、出征の決意を表明した。釜山蔚山合唱団の水仙、神慶尚国 YSP、歌手オ・スングンの孝情文化公演が行われた。神韓国 5 地区 YSP 会長の先唱で、皆で力強く億万歳四唱を行い、すべての行事を終えた。

## 全世界 40 日特別精誠出征に拡大

凍土を突き抜けて、まず春を知らせる水仙のように、神韓国 5 地区釜山を皮切りに世界的に「真のお父様天宙聖和 10 周年 聖和祝祭勝利のための 40 日特別精誠出征式」が開かれ、心を一つに、精誠の階段を積み上げている。40 日の特別精誠と特別活動期間を通じて、真のお父様天宙聖和 10 周年聖和祝祭を広く知らせ、慕わしき真のお父様にお会いし、真のお父様の夢を叶えて差し上げるために、死生決断・全力投球しておられる、真のお母様を慰めて差し上げ、私たちが真の孝子となり、真の父母様と一つになって進むならば、2027 神統一韓国、神統一世界が安着するであろう。☞





- 1 祝賀ケーキをカットされる真のお母様
- 2 真のお母様に花かごを奉呈した神慶尚国の2世・3世たちと記念撮影する場面
- 3 釜山・蔚山合唱団「水仙」による祝賀公演
- 4 出征決意文を朗読する神韓国共同大陸会長たち
- 5 行事の最後に全体で億万歳をする



# 文鮮明天地人真の父母 天宙聖和 10 周年、 40 日特別活動 決意文

懐かしさで胸痛む 果てしなく遠い時間…。真のお父様天宙聖和 10 周年がこのように尋ねて来ました。一緒にいて嬉しく、一緒にいて幸せを感じた、この世で最も暖かい微笑、この世で一番澄んだ歌声、天の父母様の解放と人類救援、平和世界創建のために 最後の瞬間まで「祖国よ輝け、死生決断 全力投球 実践躬行」を、声を振り絞って祈祷された私達のお父様…。

喉を枯らして泣いた 10 年、その耐え難い歳月を我慢できたのは 天に対するお父様の遺業とみ旨を「必ず成して差し上げる」と決心され、砂嵐が吹きすさぶ荒漠な砂漠で一本の針を探す切迫した思いで 前進に前進を重ねて来られた独り娘、私達のお母様がいらっしやるためでした。「ただ私だけが残りました。」という孤独で冷えきった摂理的事情を一人で忍耐され 天宙のカナン路程を経綸されたお母様、その偉大なお母様にこの場をお借りして 限りなき慰労と感謝をお捧げ申し上げます。

いま私達全員は 真正なる一つの心、一つの心情で ともに手を取り合って進みます。召命された遺業とみ旨を必ず成し遂げるために 中断なき前進で力強く進みます。このために天宙聖和 10 周年の意義を心に刻み、祝福家庭と食口、U P F ・女性連合をはじめとする摂理機関会員と各界指導者など、真の父母様の摂理的経綸の下で因縁を結んだすべての人々が「懐かしいお父さんに会いに行く心情」で聖和節に参加し、崇高なるその生涯と業績が末永く栄光を受けることができるように、次のように 40 日特別活動を固く決意します。

一つ。私たちは絶対信仰・絶対愛・絶対服従で真のお母様と完全に一つとなり 真のお父様の遺業とそのみ旨を必ず成すことを決意する。

一つ。私たちは天宙聖和 10 周年が「アボジに会いに行く」愛と心情の回復時間になり得るように 天情で因縁を結んだ祝福家庭と食口、摂理機関の会員と各界指導者全員を尋ねて 真の父母様の懐に導くことを固く決意する。

一つ。私たちは天の父母様の下 人類一大家族理想を実現する誇らしい天一国の民であり、孝情の子女という矜持を持って、神統一韓国と神統一世界の安着基盤造成のための「ビジョン 2027」を必ず勝利することを決意する。

天一国 10 年天曆 6 月 5 日 (2022 年 7 月 3 日)  
全世界天一国指導者、祝福家庭食口一同

# 真のお父様聖和10周年勝利のための 40日特別精誠を出征して

尹煥鎬世界本部長

お父様の聖和後、そのご聖体を前にして、子女の悲しみ、私たちは私たちが一番悲しんでいると思っていたし、偉大なお母様の肩に寄り添って甘えるように私たちの懸念や心配をお母様に伝えてしまったのですが、お母様はむしろ私たちに慰め、ご聖体を前にして「生命が尽きる日まで天一国を、祖国を定着させます。祖国よ輝け、死生決断、全力投球、実践躬行。」とおっしゃったお父様の遺言のような、その祈りを実際に成し遂げようとされたお母様。この10年間、困難を全身で受け止めたすべての内容が、お父様との約束、それを成し遂げる路程だったと私は告白します。

皆さんは国連憲章を変えるという想像をしたことがありますか？ 本当に国連をアベル国連にして、天の父母様を父母とし、真の父母様に侍る国連を想像したことがありますか？ UPFの本来の使命が交差交代祝福結婚です。祝福によって「One family under God」を作るというそのビジョンを、私たちが成し遂げると想像したことがありますか？ これが実際に成されているのです。誰によってでしょうか？ お母様によってです。この遺言と遺志はお父様の遺言であり遺志ではありませんか？ 私たちはただ摂理の一かけらとして、失われた事件を、お母様は実体化され、実現化され、実際に一つ一つ作っているという、その報告をまず私たちがしたいのです。ありがたいお母様です。

そこで私たちは、この40日路程のテーマを「お父様に会いに行こう!」と決めました。構えずにお父様に会いに行きましょう。もちろん、教会に出て来ない食口もいるし、出て来ない会員もいて、縁があったのに来ない平和大使もいるでしょう。この40日の期間で「お父様に会いに行こう!」と私たち自身にもこの言葉を投げかけて、私が最も愛する人たちに「お父様が亡くなって10周年にな



ったことだし、お父様に会いに行こう!」と一言、思い出して伝えてみましょう。

そしてお父様に会いに行ったら誰が見えますか？ お母様が見えるのです。さきほど私が申し上げた、拍手する事件ではなく、天の父母様の願いを成し遂げようと、身もだえされる私たちのお母様が見えるのです。だから「お母様を慰労してあげよう。お母様の力になろう。」が、今回の40日の活動の究極的な目標であり、私たちが持つべき姿勢です。本当にこの期間が、もう一度失われた心情を取り戻し、初心に戻る期間になってくれれば嬉しいです。

お父様に会いに行くその道が、お母様を慰めて差しあげ、これからは私たちがお母様の心情の対象となって、私たちがお母様の成熟した子女としてお母様を慰めて差しあげ、60ヵ月をこれからは私たちが責任を持って進んでいかなければなりません。今まではお母様が私たちを背負ってこの道を歩いて来られたのではないですか？どれだけ重かったことでしょうか。今度は私たちがお母様をおんぶして、お母様に侍って前進していく、そのような子女になれば幸いです。皆さんも同意されるなら、もう一度その熱い心と熱い決意を込めて、天地人真の父母様、特に真のお母様に大きな拍手を捧げてくだされば嬉しいです。☞

# 神韓国特別大陸1地区神京仁国

1. 出征日時：天一国10年天曆6月5日(2022.07.03)日曜日午前10時
2. 出征教会数：32教会(ソウル北部11、ソウル南部12、仁川9)
3. 主な参加者：中心食口
4. 参加人数：合計3,425人



## ★ 朱鎮台神韓国共同大陸会長の感想



お母様が巨済島の外島と海金剛を静かに見て回って精誠を捧げられたみ言と「神平和路を巨済島から出発させ、神慶尚国、神全羅国、新忠清国、神京原国、神京仁国を通過して、天苑宮を經由し DMZ につなげなければならない」という、ピースロードイベントによってあらわれる結果を願う天地人真の父母様の願いを、心の奥深くで悔い改めながら読みました。

自治体のトップと交渉し、首都ソウルも道路名を改名して「神平和路」の看板がかけられるように最善を尽くします。

今日から始まる「40日特別活動期間には『お父様に会いに行こう!』と『お母様を慰労してさしあげよう!』というあふれるような心のこもった活動で、お休みしている食口や平和大使を目覚めさせ、本郷苑参拝と、変化したHJ天苑の環境を見せて、新しい出発が成されるように導きます。

また実体聖霊の治癒のブームが各教会で起き、ペンテコステのマルコの屋根裏部屋の奇跡が再現されるようになります。

世の中で一番遠い道は「頭から胸までの距離」だそうです。天の父母様聖会の下、天上の真のお父様と実体聖霊、独り娘、真のお母様が両腕を広げて息子・娘を待っておられる、胸の高鳴る心情のストーリーは今から始まります。

真のお母様! 連日連夜の暑さに見舞われるこの時、どうぞご聖体を大事になさって、ご健康でいらして下さい! 神京仁国の全責任者と食口一同の敬礼をもちまして長寿をお祈りします。

ありがとうございます。サランハムニダ。

## ★ 主な感想

# 今回のみ言をうかがって、真のお母様も60カ月の路程を深刻な思いで出発されたことを感じ、これまで以上に私たち祝福家庭が一つになって勝利しなければならぬと誓いました。(ソウル南部大教区陽川教会食口キム・ヨルグ)

# 絶対信仰、絶対愛、絶対服従で真のお母様と完全の一つとなり、真のお父様の遺業とそのみ旨を成し遂げる私たちになります。真のお父様、本当に慕わしいです。2027年まで本当にお母様が健康であるように、神様よろしくお願いいたします。(ソウル北部大教区城北教会食口高橋さつき)

## ★ 神京仁国40日特別活動の概要

### 1. 精誠

#### 1) 神京仁国清坡洞元本部教会の早朝精誠



7月14日基準で1435日目(毎朝6時に教会単位で参加し、ユーチューブのライブ放送で神京仁国全体の食口が参加)

#### 2) 神京仁国の天心孝情奉獻復興マダン



毎週金曜日夜10時～翌1時まで行われる神京仁国天心苑徹夜精誠

## 2. 主な活動

1) 孝情談会: 朱鎮台会長は、60カ月の路程と真のお父様の聖和節を勝利で奉獻するために、6月8日から7月10日まで神京仁国の各教会を訪問し、中心食口と孝情談会を行った。

2) 7月3日神京仁国の各教会で出征礼拝を行う

3) そして7月4日の夜8時に神京仁国の牧会公職者ズーム会議を通じて、7月3日の「真の父母様主管釜山出征礼拝」の恵みと感動を伝えた。

4) 休眠食口の尋訪および新しい食口伝道のための仲保祈禱師

神京仁国は、真のお母様が強調された天一国の国民をたくさん作らなければならないというみ言を実践躬行し、ビジョン2027を勝利するために、既存の伝道方法を変えた発想の転換が必要だと考え、「仲保祈禱師」を養成する方針を立てた。「仲保祈禱師」を養成する方法として、「天心苑特別精誠」を通して、天心と共鳴する祈りができる訓練と精誠の時間を持っている。

そして仲保祈禱師として最初に投入する対象を、家族と休眠食口にして40日特別活動を活発に展開している。神京仁国の食口は、各教会長の主管の下で「仲保祈禱師」として任命され、それぞれ名刺を持って活動をしている。

#### 5) 治癒の賛美

神京仁国は中心食口の集まりや、原理修練などのワークショップで「治癒の賛美」をしている。治癒の賛美は、聖歌39番園の歌の歌詞を変えたものだ。今後教会で霊分立の賛美ではなく、講義に先立ち健康のためのアイスブレイク用として活用したらいいという判断から、1日セミナーに適用させている。

#### 6) 神マウル活動

神京仁国は摂理的使命を果たすために「天寶家庭の43家庭実勢化で神統一韓国安着を成し遂げよう!」というモットーで2022年を出発した。そして、各教会ごとの孝情奉仕団および神マウル共同体と住民自治会の活動を定期的に展開し、地域住民と呼吸を合わせている。またこうして関係を結んだ知人たちを、次々と平和祝福式へ導き、教会に安着させている。今回の聖和節の期間に、マウル共同体活動で休眠食口を地域奉仕に参加させている。さらに真の父母様の心情を込めて地域社会で奉仕活動を展開している。☞

# 神韓国特別大陸2地区神京原国

1. 出征日時：天一国10年天曆6月5日(2022.07.03)日曜日午前10時
2. 出征教会数：51教会
3. 主な参加者：休眠2世、3世 合計95人参加
4. 参加人数：合計4,019人(京畿北部-1,519)、(江原-1,300)、(京畿南部-1,200)



## ★ 皇甫國神韓国共同大陸会長の感想



真のお母様が、天の父母様の主権時代を開くために、天苑宮天一聖殿を奉献するために、孤軍奮闘される心情を深く切々と感じる出征式になりました。天苑宮が天の前に奉献され、天の父母様の統治時代が開かれれば、自動的に善なる群れが真のお母様の前に現れるでしょう。〈笛を吹く男〉の童話を語っていただきましたが、今後、このようなことが現実に展開されると確信しています。

真のお母様は、韓国から北朝鮮へつながる平和路を道路名として命名するように指示されました。DMZのある神京原国で、真のお母様の命令が実体化されるよう先導的に最善を尽くします。今回の出征式を通じて、独り娘、実体聖霊、真のお母様が60カ月に向けた偉大なビジョンを提示してくださいました。私たちのコミュニティがビジョンに向かって前進していけば、前にはばかどんな影も引っこんでしまうことでしょう。

今回の40日の活動テーマは「お父様に会いに行こう」です。とても良いテーマです。HJ天苑団地の巡礼で、真のお父様が願われた夢を実体化させた真のお母様の心情と愛、そして切実さをひしひしと感じるきっかけを作っていきます。

今回の40日期間に、み旨から遠ざかっていた私たちの2世、3世をすべて探して、カイン圏の兄弟姉妹も真の父母様の懐に戻れるように伝道活動に勢いをつけていきます。実績で栄光を捧げます。ありがとうございました。



★ **主な感想**

# 出征礼拝後、40日特別精誠勝利のために、教会の中心的な食口が集まって会議を行いました。中心食口を中心として、休眠食口および、縁のあったVIPをくまなく尋訪して、必ず勝利します。(江原大教区楊口教会長チョ・ジュンワン)

# 今回の出征式で天が導かれたのか、祝福結婚に関心を持った親子が一緒に訪ねてきて、教区長と面談をし、入会願書を書いて、これからは教育に参加すると決意していった驚くべき恵みの事件もありました。その日は、祝福2世の婚約式をする意義深い日でもありました。40日出征式の初日、天は出発とともに祝福候補者を送ってくださり、2世の婚約式をし

てくださったのだと感じながら、全体が恵みを受ける貴い日になりました。(江原大教区江陵教区長ジョン・ユサン)

★ **神京原国の休眠食口に尋訪活動を始める**

神京原国は、世界本部の天宙聖和10周年「40日特別活動神韓国大陸特別指針」に基づき、40日特別精誠出征後の特別尋訪活動に関する休眠食口尋訪報告書を週1回、毎週金曜日にまとめて報告しています。これに対して現場では、休眠食口に会う努力をしています。休眠食口に会いに行くことで、天の父母様とつながった絆を築いていきたいと思います。🌸



# 神韓国特別大陸3地区神忠清国

1. 出征日時：天一国10年天曆6月5日(2022.07.03)日曜日午前10時30分
2. 出征教会数：36教会
3. 主な参加者：祝福家庭、平和愛員、休眠家庭など
4. 参加人数：約3,000人(会場での参加者 約2,400人、オンラインでの参加者 約600人)



## ★ 兪慶得神韓国共同大陸会長の感想



真のお母様本当にありがとうございます。真のお父様の天宙聖和 10 周年のための 40 日特別活動の期間という大きな恩賜をくださって、私たち神忠清国は、無窮花精神で勝利と栄光を捧げることを決意しました。1. 真のお父様の天宙聖和 10 周年を迎え、過去の摂理歴史で真の父母様とつながれた人たちと、今回もう一度関係を結びなおして、真の父母様が誰であるかをはっきり伝え、「お父様に会いに行こう」というスローガンの意味を生かして教会につなげるようにします。今までは真の父母様を尊敬する平和大使、平和愛員の立場でしたが、今回の機会を通じて真の父母様の子女として生まれ変わるきっかけを作ります。2. 神忠清国の 2 世、3 世を探し出して管理し教育します。真のお母様は釜山教区で、笛を吹く男の童話の中で、笛を吹く男について行った子どもたちがいなくなったことで、その村の未来も消えたと言われました。2 世、3 世は私たちの未来の象徴です。今まで教会から離れてしまった子女たちがいるなら、この機会に探し、天の父母様のみ意を知らない子女たちがいるなら、彼らをよく教育して、真の父母様の子女になれるようにします。そして、2023 年の天苑宮天一聖殿奉獻式には、内的には 1 世と 2 世、親と子が一緒に参加できる基盤を作ります。外的には真のお母様の運勢で、神忠清国の自治体が天のみ意を知り、政策を作って協力する基盤を作ります。

## ★ 主な感想

# 本郷苑参拝ができなかった食口が半数以上でした。今回の真のお父様天宙聖和 10 周年の聖和祝祭では、食口みんなが休眠食口と平和大使、そして胎生命としてケアしている人も、真のお父様に捧げる贈り物だと思って侍り、お父様に会いに行こうと決意に決意を重ねるようになりました。(忠南大教区洪城教会オク・ギョンユン教会長)

# この期間に本当に一つになって投入し、奇跡を作ってみたいという気になりました。心の中心軸をしっかりと定め、真の父母様のみ言と実体を大切にしていきます。雷のような摂理が台風のように… こんなことを目で見たいです。60 カ月の期間の中で、さらに特別な 40 日活動期間の目的に合わせて、中心と一つとなり、今まで私たちを信じ、愛してください、導いてくださった天の父母様、天地人真の父母様に感謝します。(忠南大教区牙山教会アン・ヨンヒ)

## ★ 神忠清国40日特別活動の内容

神忠清国は、7月3日から8月11日まで、真のお父様の天宙聖和 10 周年記念 40 日特別精誠期間を一片丹心の無窮花精神で、勝利と栄光を捧げるために、次のような内容で活動を展開します。

第一に、すべての祝福家庭は、各教会の天心苑特

別祈禱室を中心に、天心苑早朝訓読会、特別徹夜祈禱会、孝情賛美役事などで、毎日、毎週精誠を捧げ、絶対善霊の祝福家庭の先祖が地上に協働できる精誠基盤を構築しています。

第二に、母親が新しい生命を孕んで出産し、しっかり養育するように、すべての祝福家庭が家庭ごとにカイン圏の伝道対象者の名簿を 1 人ずつ確保し、その人たちを教会につなげて祝福を受け、真の生命として生まれ変わる「胎生命の確保」政策を 5 月から着実に実施しています。特に 40 日特別活動期間に胎生命の伝道対象者たちに、真のお父様の天宙聖和 10 周年の内容を紹介し、平和祝祭、平和ヌリを通じて教会につなげ、真のお父様がおられる本郷苑に連れて行きたいと思えます。

第三に、アベル圏の休眠家庭と休眠中の 2 世、3 世を集中的に尋訪することで、信仰から遠ざかっている夫や妻、子女たちを目覚めさせ、真のお父様に会いに行き、真のお母様を慰労する姿に回復させます。愛の架け橋を架けるために、各教会を巡回し、食口たちとの孝情談会を通じて互いにコミュニケーションをとり、一つになって困難を克服し、みんなが勝利者の姿になれるように現場を盛り上げています。

第四に、未来人材養成のため、夏休みの期間、多様な修練で原理教育や真の父母様の生涯教育を行い、夢キャンプなどのプログラムを通じて、祝福子女としてのアイデンティティを確立し、天の父母様と真の父母様に孝情の道理を立てる真の子女として生まれ変わらせます。☞



# 神韓国特別大陸4地区神全羅国



神韓国家庭連合第4地区は、真のお父様の天宙聖和10周年のための精誠として、SNSと7つの柱の活動を通して繋がった平和愛員を対象に、13日間のオンライン原理修練を行うことから始めました。約7,000人がみ言祝祭に参加した実体的基台の上に、42の全教会から選ばれた1,000家庭が、平和祝福式を通じて祝福家庭として奉献されました。

そして実体的な定着のために、真の父母様の心情が深く染み込んだ麗水の清海研修院で100人以上が参加する中、7月1日～3日の2泊3日で統一原理修練を行い、真の家庭として生まれ変わる過程を経ました。

このような天宙聖和10周年のための実質的な精誠の土台の上に、40日特別活動期間を迎えました。

4地区の42教会はこの期間、休眠食口の尋訪を通して教会に来ていない食口を探し、今まで真の父母様と縁のあった人と共に天宙聖和10周年を迎え、一緒に懐かしいお父様に会いに行きます。

天地人真の父母様のことをもう一度考え、独り娘、真のお母様と黄金期を共に過ごし、天一国創建の希望を捧げる40日期間となるよう、死生決断、全力投球の心情で愛の勝利を奉献します。

天地人真の父母様!ありがとうございます。サランハムニダ!

## ★ 李相宰神韓国共同大陸会長の感想



神全羅国のすべての教会は、真のお父様の天宙聖和10周年を偲んで、「お父様に会いに行こう」というテーマで40日精誠を出発し、その遺業を成し遂げることを決意する出征礼拝を捧げました。

真の父母様は「いつも心をよく保つように」と言われ、「天宙主管を願う前に自己主管を完成せよ」という貴いみ言をくださいました。これによって心と体が統一され、夫婦が一つとなり、「家庭が幸せな教会、家庭が幸せな神全羅国」を成して行って欲しいです。真の父母様がくださったみ言に従って、私たちが社会の模範になるなら、私たちの隣人、氏族、社会、国が私たちを支持し、信頼し、従ってくれるでしょう。

真のお父様の天宙聖和10周年を迎え、40日の特別精誠期間を通して、み旨の道を出発した時の最初の動機、最初の心、最初の愛を思い出し、愛で勝利する私たちになることを願います。牧会者と食口全体が一つとなって、教会から遠ざかっていた食口、お休みしている2世たちを立ち上げらせ、再び父母様のもとに戻れるよう、特別

尋訪活動に特に心を注いでくださるよう願います。「懐かしいお父様に会いに行こう」と言って、手をつないで天苑団地に行き、本郷苑でお母様にお会いして、今日という日があるために苦労された真のお母様を慰労する真の孝子、孝女になることを願います。

★ **神全羅国40日特別活動の精誠方法と活動目標**

1. 全羅北道

1) 精誠方法

真のお父様の自叙伝完読、休眠食口の名前を声に出して祈る、早朝訓読会の精誠、43 拝敬礼の精誠

2) 活動目標と方法

1. ピースロード縦走、青年食堂、ハッピーデイセミナーなど休眠食口対象の招待イベント実施
2. 平和大使、平和愛員のための開かれた礼拝
3. 休眠青年食口のためのプログラム（焼き肉パーティー、バイクング、スポーツなど）

2. 光州・全羅南道

1) 精誠方法

休眠食口の名前を声に出して祈る、原理スタディ、早朝訓読会の精誠、天宙聖和特別献金の準備、リレ一朝食断食、43 拝敬礼の精誠、三位基台ごとの天心苑祈祷会、孝情奉獻書の奉獻、聖地祈祷会

2) 活動目標と方法

1. 毎日食口 1 人が休眠食口 1 人を尋訪
2. 対面礼拝および出会いの場、スポーツ活動、巨文島聖地巡礼など多様な活動に誘う

3. 婦人の尋訪 - 休眠 2 世の尋訪のために婦人たちが連絡する

4. 新しい食口および休眠食口復帰のための開かれた礼拝実施

5. 真の家庭実践運動本部活動（咸平）、お灸の奉仕活動

6. SNS 活動：み言と原理の動画を送る

7. 休眠食口、新しい食口に電話がけ

8. 成和学生グループの編成、認証ショット、プレゼントをする

9. 家族旅行による家族共同体の一体感を築く

10. 管外在住の青年大学生招待プログラム

3. 海洋・済州

1) 精誠方法

自叙伝訓読、休眠食口の名前を声に出して祈る、原理 1 対 1 養育、早朝訓読会の精誠、43 拝敬礼の精誠

2) 活動目標と方法

1. ピースロード縦走、青年食堂、ハッピーデイセミナーなど休眠食口対象の招待イベント実施
2. 休眠食口のタイプに合わせた専任担当者を構成し持続的な尋訪活動
3. 休眠食口復帰のための三位基台編成、持続的な電話がけと尋訪
4. 休眠食口ごとの担当者選定、尋訪
5. 休眠食口のタイプごとの集会推進
6. 休眠食口の尋訪事例共有
7. 全体休眠食口への連絡および尋訪、休眠食口 50% 以上を招待する 



# 神韓国特別大陸5地区神慶尚国

1. 出征日時：天一国10年天曆6月5日(2022.07.03)日曜日
2. 出征教会数：69教会
3. 主な参加者：大教区長、教区長、教会長、財職会長、婦人会長など
4. 参加人数：2,200人(現場参加390人、オンライン1,810人)



神慶尚国は、真の父母様を迎えて行われた釜山教会特別集会だけでなく、複数の教会で同時多発的に40日特別精誠の出征が行われました。また、天心苑祈禱会を通じて、この日の集いを食口たちと共有し、出征する礼拝の時間も持たれました。

## ★ 朴榮培神韓国共同大陸会長の感想



日韓海底トンネル in ピースロードは全人類のビジョンとなりました。2021年5月23日、釜山教会で真のお母様が「朴榮培!日本の5地区のパク・ジョンピルと一つになって、日本の最高指導者と韓国の最高指導者に教育をしなければなりません。その道だけが、この国が神統一韓国として一つになれる道であることを知らせなければなりません。」と言われたみ言を実現させるため、毎週金曜日の夜9時から、日韓5地区の責任者会議を重ね、国の最高指導者教育に邁進してきました。

独り娘、実体聖霊、真のお母様がくださったみ言に対する絶対信仰を持って実践躬行すれば、そのビジョンが現実になることを毎日毎日体恤しています。真のお母様を中心に家庭連合、UPF、YSP、女性連合、元老会が一つとなって、天地人真の父母様の夢を必ず成し遂げます。

天の父母様が私の祈りを聞いてくださいました。釜山港に帰れ、実体聖霊が釜山に来られました。生きて存在される天の父母様に感謝します。真の父母様に待る私たちに従って、休眠1世、休眠2世、休眠平和大使、休眠平和愛員を先頭に、善なる地域住民が従って来れるように、真の父母様の真の愛を伝え、教育するようにします。

釜源之聖道 聖徒之福音、釜山に旺臨され、摂理史的なみ言と、母性の真の愛をくださった恵みに感謝し、真のお母様のご健康を切に祈ります。



★ 神慶尚国40日特別活動

真のお父様の天宙聖和 10 周年を迎えて行われる 40 日特別精誠の期間、神慶尚国は各摂理機関（家庭連合、UPF、YSP、女性連合、元老会など）が一つとなって、休眠 2 世および休眠家庭復歸のために精誠を捧げ、機関全体が有機的關係の中で協力して目標を立て、細かい活動計画を立てました。アンケート調査で食口のニーズを把握し、これを満たすための計画と一緒に立て（精誠および活動計画樹立のための中心食口 / 牧会者 / 教会ごとの孝情談会実施、休眠食口の現況把握およびリスト作成）、具体的な尋訪と相談を行い、迅速な結果報告（模範事例の共有）による戦略補強やフィードバックなど、体系的管理を行っています。期間を区切ったの活動内容は以下の通りで、状況に応じて内容を改善し、最適な対応をしています。

- 蘇生 (7/4~17) :

孝情談会実施（牧会者、食口）、精誠および連絡、牧会者 & ホーム長の尋訪（傾聴、支持、激励）、ラポール形成、ニーズ把握

- 長成 (7/18~31) :

ホームチャーチによるラポール形成およびニーズを満たすための活動（ホームグループ家族キャンプ、聖地巡礼）

- 完成 (8/1~11) :

各種原理修練および礼拝（開かれた礼拝、家庭教会礼拝）、聖和節の行事に参加 -> 教会定着および食口化

- その後の持続的管理 :

ホーム長を中心とした定期的尋訪、ホームグループの集まり（キャンプ）



# 神日本



★ 方相逸大陸会長 40日特別精誠出征式に関するスピーチ  
(2022年7月7日 神日本第4地区責任者出発式 岡山家庭教会)



7月3日、真のお父様の天宙聖和10周年に向けた40日路程(7月3日～8月11日)を出発しました。スローガンは「真のお父様に会いに行きましょう!」です。真のお母様のお立場では、お父様に会いに行くとなるとと思いますが、私たちにとっては、「真の父母様に会いに行きましょう!」と置き換えてもいいのではないのでしょうか。

真のお母様は、教会から足が遠のいている「休眠食口」のことを心配されています。新型コロナの影響で、礼拝はオンラインでの参加が当たり前になり、教会に行けたとしても、ソーシャル・ディスタンスの確保のため、100人収容できる礼拝堂に20人しか入れないなど、物寂しさは拭えません。牧会者にとっても、教会運営に手応えを感じづらい期間が約2年半も続いているのです。

一方、真のお母様はこの間、200回以上の大会を主宰してこられました。お母様がそのご生涯で、来日して講演をされたのが約170回ですから、コロナ禍での投入には驚くばかりです。コロナを恐れ、世の中では各種イベントが中止される中、お母様は、困難なときだからこそ成さなければならないと、感染予防を徹底し、インターネットを駆使するなど、さまざまな工夫をして大会を開いてこられました。

真のお母様は、全ての祝福家庭、食口、二世、三世が、聖和10周年を機に、真のお父様のもとに集うことを切実に願っておられます。休眠食口のことばかりでならないのです。

日本では、二世圏を呼び戻すための尋訪プロジェクトを展開してきました。同じように、教会との距離が開いてしまった祝福家庭や食口を訪ねましょう。真の父母様につながってこそ、霊的な生命は生かされます。教会につながらないで、どうやって真の父母様の心情圏を理解するのでしょうか。今は、天の父母様と真の父母様の夢がかなう歴史的な時であり、真のお母様と共に歩むことのできる黄金期であると伝えてください。

指導者には、真の父母様の心情、事情、願いを末端の食口にまで伝える責任があります。これまで私たちの歩みに何が足りなかったのかを反省し、天の愛する全ての兄弟姉妹と共に真の父母様の懐に帰っていくにはどうすればいいのか、日々、考えを深めながら40日間を走り抜いていきましょう。

10年前の7月7日、真の父母様は米国・ラスベガスにいらっしゃいました。7月初めに渡米し、1週間を過

ぎた頃、真のお父様は風邪を引かれたのです。症状が悪化する中、慣れない米国の病院では、何かと不便なことも多いでしょう。真のお母様はお父様の身を案じ、早く韓国に戻りましょうと懇願されました。そして、同 15 日に帰国されたのです。真のお父様は、ご自身の命が危ないということを感じておられたのでしょうか。7 月 15 日に米国から帰国されると、その翌日、アベル女性 UN の創設大会を開かれました。お父様は、み言を語られている最中に倒れそうになりました。今までとご様子が全く違ったのです。そのように全身全霊をかけて創設されたアベル女性 UN が、天の摂理上、重要なことは言うまでもありません。

1992 年 4 月 10 日、世界平和女性連合が創設されました。真のお父様は女性時代の到来を宣布し、真のお母様が女性連合の総裁に就任されました。その日から 2 年さかのぼる 1990 年 3 月 27 日、米国・ニューヨークで行われた真の父母の日の記念礼拝で、お父様は「女性全体解放圏」を宣布し、お母様を第二教主であると言明されました。

今年は、真のお母様が女性連合の総裁になられてから周年を迎えました。アベル女性 UN が創設されたのは、その 21 年目のときでした。真のお父様は、摂理的な数字を意識し、お母様を中心に地上のみ旨を進めるための布石を打ってこられたのだと思います。

2012 年 9 月 3 日 (天暦 7 月 17 日)、真のお父様は聖和されました。その日までの約 40 日、真のお母様にとっては、それまでの人生で最も苦しい期間だったのではないのでしょうか。誰よりもお父様のことを分かりながら、何もしてさしあげることができず、傍らに居ることしかできないもどかしさ。私は、お母様が当時のことを振り返りながら、今回の 40 日路程を組まれたのだと思うのです。お母様が、お父様のために何でもしてさしあげたいと、心が張り裂けるほどに願われた、そのような心情圏で、私たちに 40 日路程を歩んでほしいと願われているのだと思えてなりません。

真のお父様は、天の摂理を進展させ、私たちを守るために霊界に旅立たれました。だからこそ、お父様が深い愛情を注がれた祝福家庭、食口を一人でも多く訪ね、彼らが抱える事情や悩み、不平や不満に真剣に耳を傾けてください。彼らが教会に戻ってくることを、お父様は心から待っておられるに違いない

のです。

私は毎週、一度か二度、見聞きした内容を手紙にしたためて、真のお母様にお送りしています。いつも、お母様に喜んでいただけるようなご報告をしたいのは言うまでもありませんが、時には、直面する課題についてお伝えしなければならないことがあります。

全世界、8 圏域の大陸会長が、同じように真のお母様にご報告し、ナショナルリーダーたちも懸案事項があれば、お母様にご相談するでしょう。毎日、全世界からの報告に目を通し、必要な対応をなさっていることを考えるだけでも、お母様の大変さが推し量れます。

真のお母様は、二世、三世たちに希望を託しておられます。彼らを鮮文大学、UPA で教育し、全世界に宣教師として送るように願っておられます。この 40 日路程で二世圏のために心を尽くし、教会に来ることのできていない子供たちがいれば訪ねてあげてください。路程後、何人の二世、三世が集うようになったか、しっかりご報告しようと思います。

人類歴史は、たった一人によって変わります。

アダムとエバの墮落によって、人類歴史は悲しみの歴史になりました。ノアによって新しい世界が始まり、神様に希望の光が見えましたが、息子ハムの過ちによって、再び、苦難の歴史となりました。それでも、神様は諦められませんでした。アブラハムやイエス様のように、摂理的中心人物が勝利することを通して、人類歴史を導いてこられたのです。

地区、教区、教会が勝利するかどうかは、皆さん一人一人にかかっています。地区会長、教区長、教会長、婦人代表の考え一つで、食口たちの歩みは変わります。中心人物の立場は恐ろしいものであると、つくづく感じさせられます。

「中心人物が倒れたら歴史が倒れる」。真のお母様は、正にそのような立場で、昼も夜も関係なく歩まれています。鄭元周室長によると、お母様は、夜になったから就寝するということはないそうです。横になっても、さまざまなことが頭を巡って心は落ち着かず、ぐっすりとお休みになることができないのです。

6000 年に及んだ復帰摂理歴史を締めくくろうとする今、真の父母様と完全に一つになっていかなければなりません。今回の 40 日路程を勝利して、下半期の出発となるこの月、生涯最高の実績を打ち立てて、真の父母様に会いにいきましょう！ 



## ★ 40 日特別精誠出征式 感想文

### 2 地区 婦人食口

「アボジに会いに行こう」というスローガンのもと、全ての食口と共に 40 日路程が出発しました。

7 月 3 日の真のお母様のみ言の中で、「地上に真の父母がいる間に」と何度も語られました。また「宗教の終点は、真の父母に出会うことで、天のみ旨、夢を成すことができる。真の父母を通じて生まれ変わる祝福を受けなければならない。我々は大きな武器を持っている。」と強調されました。

「天の祝福を受けた者が責任を果たさないと恥ずかしい者になる。天寶家庭、民であることを誇れる皆さんとなることを願います」と励ましのみ言葉を受け、天の父母様と真の父母様の願い、夢に応じて孝情を捧げていきたいと思えます。有難うございました。

### 4 地区 教会責任者

真のお父様が御聖和されてからはや 10 周年を迎えようとしていることに月日の流れのはやさを感じます。

7 月 3 日のオンライン出征礼拝では尹煥鎬世界本部長が今日までの真のお母様の業績と今後のビジョン 2027 をお話され、真のお母様が中断なき前進で歩まれてこられた結果を見える形でされた業績には感服するところであります。御父母様のご心情をどれだけ察して歩んでいる自分であるのか、反省する思いでもあります。

「平和路」構想を実現できるよう、日本にも連結していけると素晴らしいことと感じました。真のお母様が決意されている天命を一つとなって勝利していけるよう、40 日間の精誠期間、60 ヶ月の歩みをさらなる決意をして出発して参ります。ありがとうございました。

### 1 地区 教会職員

お父様の夢を見ました。生前にはお父様の夢はよく見ましたが、聖和後では初めてお父様の夢を見ました。お父様が広い丘のスイレンの花畑に表れて、聖物を捧げなさいと何度も語られました。聖物とはどのような物ですかとお聞きしましたが、答えはよく解りませんでした。

7 月 3 日の 40 日特別精誠出征礼拝に参加させていただきました。尹煥鎬本部長が語られた「10 年間のお母様の血と汗と涙の精誠の奇跡の摂理の勝利」の内容に心から感動いたしました。

今回の 40 日精誠路程のスローガンが、「お父様に会いに行きましょう」です。特に休眠食口たちに対する再復帰の願いがこの期間とても重要であり、また「責任を果たせなかった民族は、どれほど大きな蕩滅を受けるか」というお母様の思いをひしひしと感じました。

今この時、国が、民族が真の父母様に侍ることができるように、私たち子女の責任を果たして、人口 1 億復帰に向けて日本も入っていけるよう、まずは私自身が決意して、聖別された聖物となり、40 日路程を真のお母様と一つとなって勝利して、聖和 10 周年をお迎えしたいと思います。ありがとうございました。🙏

# 神北米

1. 出征日時：天一国10年 天曆6月5日~8日(2022. 07. 03.~06.)
2. 出征教会数：27カ所(アメリカ23カ所、カナダ4カ所)
3. 主要参加者：中心食口
4. 参加人数：計1,545名(アメリカ 1,287名、カナダ 258名)



## ★ 龍鄭植(ヨン・ジョンシク) 神アメリカ大陸会長の講話



食口の皆様、幸せな日曜日です。昨夜、私たちは、真のお父様聖和 10 周年記念 40 日特別精誠出征式で、真のお母様のみ言を聞きました。

私たちが愛する真のお父様が聖和されてから既に 10 年が過ぎたというのは、信じ難い事実です。どれだけ懐かしいお父様でしょうか。真のお父様がとても慕わしく、いつも真のお父様に対する懐かしさに胸が込み上げる思いです。

しかしこの 10 年間、真のお母様が私たちを悲しみの混沌と深い哀悼、そして新しく偉大な摂理を通じて導いてくださったということは、どれほどの祝福でしょうか。

地上の真のお母様と霊界の真のお父様の思いが一つに結合され、私たちは驚くべき前進を目の当たりにしました。真のお母様は確固たる信念と無限なる愛、恩恵で私たちをより一層天の父母様の摂理へと導いてくださいました。

真のお母様を通じて、祝福家庭が天寶苑に入籍し、真のお父様が私たちに何度も強調された、「氏族メシヤ」の使命を果たすことができました。私たちは政治、宗教、各界各層の最高指導者を迎え、平和の母、真のお母様の業績について彼らが支持するという誓約を得ることができました。

私たちは天一国の実を結び、これを天の父母様と真のお父様に捧げるといふ、真のお母様の決断と意志を垣間見ることができます。真のお母様は私たちの側におり、この記念碑的で歴史的な内容に同参せざるを得ません。

真のお父様の聖和以降、毎年、祝祭、祝福式、カンファレンス等様々な活動で聖和式を記念してきました。1 年の内でもこの期間、私たちは真のお父様の遺産を祝い、真のお父様の人生を称え、真のお母様を支持するために私たち自身を再び明らかにできる、貴重な機会です。

しかし、歳月が経つにつれて、現実では多くの兄弟姉妹が遠ざかり、離れて行きました。時には彼らの真のお母様に対する思いが遠ざかったというよりは、ただつながりが切れただけです。しかし、食口によってはより深い



苦痛を持っており、戻ってくるためにより多くの治癒と愛が必要かもしれません。

昨夜、真のお母様の歌を聞きながら、お母様の切迫した思いが感じられました。お母様は私たちに、祝福家庭の責任を果たしてほしいと願っておられます。真のお母様は強くて力に溢れ、いつものように輝いておられました。またお母様はお美しい姿でした。お母様の笑顔とその態度は私たちがどれだけ信頼して愛しておられるのかを見せてくださいましたが、また私たちがこの時期に実質的な結果を伝えることを願っておられます。

ご存知のように私たちはそのような結果を成し遂げることを願っています。すでに数ヶ月前に「新しい生活キャンペーン」を始め、一人の食口が新しい信仰の子女を三名ずつ伝道するという趣旨で定期的な伝道活動を行っています。自然に私たちはこの活動を続けていく予定です。天の父母様と真の父母様の前に、新しい食口と共に実質的に教会を成長させていくことを誓います。

しかし、お父様の聖和日を控えた40日間、真のお母様は活動していないお休み中の食口達にも手を差し伸べてほしいと強調されました。私たちは真の父母様が絶対に子女たちを忘れられることはないという事実を知っております。

天の父母様は子女たちを見捨てられることはないでしょう。私たちは私たちの使命が、完全なる救いであることを知っています。それは何も残らないことを意味します。そのような心情で、天の父母様の心情が響き渡る思いで活動を繰り広げ、しばらく会えなかった兄弟姉妹たちをもう一度伝道しましょう。

私たちは新たな食口を伝道するだけでなく、既存の食口を伝道することを決意しなければなりません。愛する子女たちが戻ってくるのを見て、お父様はどれほど喜ばれるのでしょうか？それほど信仰心の厚かった、それほど犠牲になってきた人々が自ら世の中を失

い、彷徨っている姿を、真の父母様と天の父母様をご覧になられたならば、どれほど心痛められるかわかりません。

食口の皆様、私たちは大きな共同体です。時に私たちは一部の食口が教会に来ないだとか、10分の1献金を出さないことに関心を持たない時もあります。しかし、今回の精誠期間中、このような食口やお休み中の食口にも積極的にアプローチすることに集中しましょう。天の父母様のすべての子女、真の父母様の失われたすべての子女たちを記憶し、私たちが大切にして愛しているという事実を示しましょう。食口が戻ってくるのを見るならば、私たちは40日のみで留まるのではなく、本当に完全なる救いを成し遂げるまで続けて行くことが出来ると確信します。

毎日祈禱し、早朝の精誠を捧げ、訓読をしながら、地域の休んでいる食口の名簿を作り、アプローチしなければなりません。彼らと一緒にお茶をして、夕食を食べ、彼らの話を聞きながら、彼らを愛するように招待してください。そして彼らに神様と真のお父様が、彼らを待っており、真のお母様が彼らが戻ってくることを切実に待っていらっしゃるということを想い起こさせてください。

真のお母様と絶対的に一つとなり、天の父母様、真の父母様に喜びをお返しし、失われた兄弟姉妹たちを再び呼んで、私たちの共同体を新たな生命と新たな精神、そして新たな食口で満たし続けていきましょう。真のお父様聖和10周年を、本物の勝利の行事として作り上げましょう。UPFが伝道のための強力な環境を成功的に造成するとともに、家庭連合で新たな食口を伝道し、休んでいる食口の伝道にも全面的に集中しましょう。それだけでなく、聖和式の日、私たちは天の父母様と真の父母様をお迎えし、家族全員が共に集まるように致しましょう。そのように決意しましょう！ありがとうございます。🙏

# 神ヨーロッパ

1. 出征日時：天一国10年天曆6月8日（2022.07.06）

2. 参加人数：合計3,600人



## ★ マイケル・バルコム神ヨーロッパ大陸会長のメッセージ



食口の皆さん、こんにちは！何人かの食口は、真のお母様が釜山で特別集会を行い、皆さんがそこに招待されなかったことに驚くかもしれません。通常、ヨーロッパは、ピースリンクで生中継されるものを視聴する機会があります。しかし、今回の集会はヨーロッパの主な指導者数人しか招待されませんでした。幸い、特別集会全体が録画されていたので、できるだけ早く見て頂きたいと思います。

真のお母様のみ言、そして訪れる40日特別精誠期間のテーマは「お父様に会いに行こう」です。皆さんもご存じの通り、真のお父様が興南監獄から生きて出て来られ、避難民として南下され、再びみ旨を始めた所が釜山でした。神様に対する絶対的な決意と信仰で、真のお父様は原理原本の初版を完成され、伝道を始められました。草創期の弟子たちは、真のお父様が涙石に座って、平和の道を学ぶために世界の人々が韓国に来るその日のために祈られたと回想しています。数年後、真のお父様はソウルに拠点を移され、1960年に子羊の婚宴を開かれ、人類が長い間待ちこがれた真の父母様がこの世に現れたのでした。

釜山は私にとって特別な記憶がある所です。5年前、アメリカの教会を率いていて、ヨーロッパに赴任する直前、他の指導者たちと一緒に釜山教会の奉献式に招待されました。以前教会があった場所に建てられた美しい

聖殿でした。当時、真のお母様は、真のお父様がみ旨を始めた頃に持っていたグローバルビジョンを実現させ、真の父母様と天の父母様に会うために、世界の人々が実際に韓国を訪れるようにするという決意を情熱的に語られました。

お母様はその誓いを忘れていませんでした。前回の集会のみ言で、神様の神聖な聖殿である天苑宮が来年5月に開館し、皆が天の父母様に会い、真の父母様の人生について学べる場所になるという事実がどれほど喜ばしいことかを語られました。

3時間分量の集会全体の映像を見れば、尹煥鎬(ユン・ヨンホ)本部長が語った、最近アフリカで起きている内容の報告も聞くことができます。この数年間で真のお母様と縁を持った指導者がみな、依然として摂理に向かって進んでいるのを確かめられて、とても嬉しく思います。一つ興味深い点は、鮮鶴平和賞の受賞者の一人が、現在アフリカユニオンの会長であり、もう一人の受賞者はASEAN(東南アジア諸国連合)の会長だという点です。真の父母様に従う人たちに祝福が来ています。これは私たちが常に肝に銘じなければならない点です。

私たちは、皆さんが真のお母様のみ言を直接勉強できるように、21分の動画を用意しました。今週の

課題として差し上げたいと思います。それは今日がまさに、真のお父様の聖和10周年を40日後に控えた日だからです。今日の礼拝が終わってから、ご一緒に視聴する予定です。もっと詳しく読んで研究することのできる筆写版もあります。

これから40日間、私たちは地上の神の国である天一国の到来に関する真の父母様の主なみ言をいくつか見ていくようにします。今週は真のお母様の出征式のみ言です。来週は2012年から私たちに送られた真のお父様の最後のみ言になります。真の父母様のみ言をもっと深く探っていくために、40日間一緒に時間を持ちましょう。

また勉強と祈祷だけでなく、私たちは行動が必要です。すべての地域、国、共同体、家庭が、お父様の聖和式をどのように記念するか、明確な計画を立てなければならないということ、はっきり申し上げておきたいです。友人、家族、他の信仰を持つ人、地域の市長などが参加することのできる記念日にならなければならないと思います。

ですから、私たちみんなと一緒に真のお母様の特別メッセージを視聴することで、この40日精誠期間をスタートしましょう。神様の祝福が共にあることを願います。🙏



# 神アジア太平洋1

1. 出征日時：天一国10年 天曆6月5日~8日(2022. 07. 03.~06.)
2. 参加人数：計589名



## ★ デミアン・ダンクリー 神アジア太平洋1大陸会長の講話



こんにちは、食口の皆さん。今日はとても特別な日です。そのため、私は特別なメッセージを伝えようと思います。今、私たちは黄金期に暮らしています。そうですね？ これは私たちが黄金期に暮らしており、真のお母様と一つになれば、奇跡が起きるといふ真のお母様のみ言です。私は多くの皆様が、そのような奇跡を経験していると信じています。

ですから、真のお母様と一つになることは、私たちの最初の重要事項です。そのような意味で、お母様は本日7月3日、私たちに特別な使命を与られました。

真のお母様は40日間の特別な条件、献身的な条件、実現可能な適用と共に、祈禱と実体の両方を本日から始めようという出征式を行われました。特別精誠40日期間の主題は「アボジに会いに行きましょう！」です。今回の行事は、韓国で開かれる真のお父様聖和10周年特別記念式を控えて行われ、世界中からも招待され、多くの人々が参加する予定です。

タイでは、120人の指導者が対面とオンラインで参加した、地区再出発リーダーシップワークショップが行われ、私たちは今後6ヶ月間の戦略を簡素化するために努力しました。この戦略の焦点は教会内部の成長だと話しました。教会の成長は単に新しい食口を伝道するのではなく、実際には互いをまず伝道することです。

私は地区のすべての国家指導者と中央指導者達に、教会成長を始めとする一つ或いは二つの核心分野に集中することを要請しました。皆さんはいかがお過ごしですか？ 祝福家庭いかがお過ごしですか？ 祝福家庭の二世たちはどう過ごしていますか？ 新しい食口と既存の食口、毎週会う食口、そして会えていなかった食口、数ヶ月間、皆がどのように過ごしているでしょうか？ 私はこれが真のお母様がこれから40日間、私たちに願っておられることの核心だと信じています。

私は各家庭の状況、各地域社会の状況、各国家によって状況がかなり違うということをはっきりと知っています。そこですべての指導者に、各地域の独特な状況に関心を持ってほしいと要請しました。国別、センター別に6ヶ月に対する具体的な目標を立て、今後40日かけて集中的に加速度がつくでしょう。私たちの戦略と計画は私たちにとって役に立つものですが、根本的には天の父母様と真の父母様、私たちの関係に関するものです。ここで私たちは偉大な勝利を収めることができる力を見つけましょう。この条件には祈禱だけでなく活動も含まれます。皆さんの状況に応じて、私は神様が皆様と皆様の家族、兄弟姉妹たちが、皆様の地域で、真のお母様が願われていることが何であるのかを正確に悟る方法を導いて下さると信じます。どんな状況でも私たち皆が、非常に実現可能な方法で、40日特別精誠期間に参加して下さるよう願います。

天の父母様は各分野別に特別な計画を持っておられますが、アジア太平洋会員の皆様一人一人がこの40日間の特別精誠期間に参加して下さるよう願います。

私たちは、真のお父様に会おう準備をしています。これは単に8月に限ったことではありません。これは2027年まで、今後60ヶ月のための、次の6ヶ月のために点火しようとする文化です。私は神様が私たち各自を直接導いて下さると信じます。

ですから今日、私たちは新たに始まるのです。奇跡的に、真のお母様が私たちに願っておられることは、私たちが再出発ワークショップで計画したことと同じです。真のお母様の偉大なる祝福と推進力で、私たちは成し遂げることが出来ます。

私たちは新食口の伝道をしていきます。2日修練会と5日修練会を開催する予定です。ピースネットに人々を招待することができます。聖日礼拝と他の行事に人々を招待し、40日特別精誠期間が終われば、真のお父様聖和10周年特別行事と共に、このすべての人々と食口、二世たち、そしてゲストをオンラインで「韓国の真のお母様」と共に時間を過ごすことができるように招待しなければなりません。これは全く新しいものです。真のお母様はこれから、去る60年間の真の父母様のすべての偉大な業績を記憶することにのみ焦点を合わせるのではなく、2027年とそれ以降、新しい時代に進むことに焦点を合わせておられます。

天の父母様聖会は単に大きな数字を共有するのではなく、私たち自身の共同体、国家、地域、家庭の中で真心と真実なる思いの突破口を共有する共同体です。そのような精神で共に進みましょう。私たちは共に天の父母様聖会を建設し、今後40日間、心情の実体的な結果を作りましょう。

兄弟姉妹の皆さん、私はとても興奮しています。今は偉大な新しい時代であり、お母様が直接私たちを導いておられます。私たちが一つになって、すべての困難を共に克服しましょう。簡単ではないかもしれませんが、私たちが共にするならば、喜びが共にあるでしょう。私はこれが喜びであると約束します。

私たちは皆さんを愛しています。ですから私たちの家族が、あなたとあなたの家族、そしてあなたの愛する人々と友人達に愛を送ります。8月、真のお父様にお会いするために準備しながら、素晴らしい条件を備えて、真のお母様のために最も驚くべき、感動的で素晴らしい証をする準備を致しましょう。神様の祝福が共にあることを願います。ありがとうございます。アヂュ！



# 神アジア太平洋2

1. 出征日時：天一国10年 天曆6月5日~8日(2022. 07. 03.~06.)
2. 参加人数：計975名



## ★ 堀正一 神アジア太平洋2大陸会長の講話



すでにレオ・アンジェロ牧師が40日精誠条件を説明しましたが、この条件の核心は、真のお父様の聖和10周年のためのものだという点を肝に銘じてください。原理講論によると、数字の10は完成と同時に、より高いスタート地点を意味します。真のお母様は、真のお父様との約束を成し遂げられたので、摂理のすべてを成功され、より高い段階に発展させました。40日の条件の核心は、10年間、真の父母様が一つになられたことと、勝利を実現し、確認して確保することです。真の父母様の持続的な進展と発展により、真のお母様が基元節を宣布されること

ができました。

真のお父様の聖和式をする間、国家元首、大統領、ましては前職大統領も出席しませんでした。現在を見てください。これは真のお父様のための真のお母様の勝利です。真のお母様自身の勝利です。私たちのために、私たち自ら努力をする必要があります。コロナパンデミックの期間中、私たちは多くの食口を失いました。今回の40日間、食口を再び連れてくることができます。私は彼らが新型コロナウイルス感染症の状況のために去ったとは信じていません。彼らは出会いの不在のために離れたのです。休んでいる食口に会って私たちの経験を共有し、今起きていること、特に真のお母様の最近の摂理を知らせなければなりません。そのような瞬間がなければ、休んでいる食口が自身の基準を維持することは非常に難しいのです。それで私たちは休んでいる食口を訪問しなければなりません。

UPFまたは他の組織活動をする場合は、まず皆様の貴賓、平和大使および過去の活動に参加していたすべての会員を訪問してください。彼らを再び連れてくる良い機会です。教会指導者と

天賣家庭の皆さん、皆さんの教会の食口と神氏族メシヤの食口たちに出会うことを願います。皆さんが、彼ら

に今何が起きているのか教えてください。何が起きているのかを知って、何が必要なのかを知らなければなりません。多くの場合、さらには活動している食口も現在の摂理について、よく知らない場合もたくさんあります。どうか今の摂理を知って記憶しようと努力してください。

メモをすることも役に立ちます。フィリピンのみならず、多くの地域でもたくさんの教会の食口が集まってただ座っているだけです。彼らはただ少し霊的なエネルギーを受けることだけを望んでいます。そしてそのエネルギーに幸せを感じます。帰って1週間を過ごし、仕事を少しして帰れば、既に疲れています。彼らはエネルギーが尽きて天の愛を受けて、エネルギーを充電し、再び一週間を過ごしたがついています。これはまるでサイクルのようです。このような状態では大きな変化を作ることができません。私たちは生存と勝ち取らなければならない必要があります。

伝道状況で何が勝利でしょうか？ 私たちが他の人たちと良い関係を作り、天のみ言を伝える時、それが勝利です。誰かが天のみ言を伝える時、たとえ短くても、皆さんはメモをしなければなりません。そうすれば、皆さんが誰かに出会った時、皆さんが感銘を受けた思いを話し、彼らを招待することができます。これによりエネルギーを受けることができます。新食口や既存の食口達の出会いに招待してください。非常に重要です。

この時代は大統領、総理、国会議長が証をしている本当に驚異的な時代です。彼らは真のお母様を尊敬し、公式的には人々の前でこれを表現します。今は新しい時代です。一世、二世に出会って、皆さんの友人や既存の食口を訪ね、統一運動や統一教会ではなく、家庭連合と天の父母様聖会共同体に招待することを願います。私たちはより多くの人々を招待する戦



略を立てるにあたって、お互いに助け合わなければなりません。

私は精神的に傷ついた多くの既存食口と私たちの分派の一部に傷ついた二世たちを知っています。非常に矛盾していますが、教会の指導者はほとんど敵として扱われます。教会は彼らにとって地獄のようです。また、多くの二世たちは両親の愛を受けることができず、恨みを持っています。ですから私たちは彼らの心を解きほぐさなければなりません。統一運動に復帰したくないという彼らの心情は共通しています。しかし、私たちの提案は、真のお母様に焦点を当てています。

これが私たちが新しい次元に進出し、新しい教会と新しい文化を建設するために努力する点です。国家の復帰はフィリピンの数百万人とアジア太平洋地域の4億3200万人の世話をしなければならないということの意味するので、私たちはこれからもっと多くの人々の世話をし治療しようと努力しなければなりません。この40日間、私たちは最小条件である特別寄付をしなければなりません。それよりも多くのお休みしている食口と二世、貴賓を招待して、統一運動ではなく家庭連合と天の父母様聖会にお連れしてくることを願います。その後、聖和10周年を準備するようにします。聖和10周年はいつにも増して心から迎えることになるでしょう。私たちは多くの食口を連れてきて、真のお父様に報告しなければなりません。これは私たちの精誠です。真の父母様に捧げる、私たちの贈り物です。これは未来のための希望となるでしょう。

今回の40日間、私たちは関係性を再建しなければなりません。天一国に向けた私たちの肉体的、霊的關係性を再建する時期です。二世たちはすでに天の父母様と肉体的に、霊的につながっていますが、彼らの道は雪崩や事故で破壊された道と同じで、これからはその道を補修しなければなりません。

一部の貴賓と既存の食口も同じ状況を経験しました。道を再建して橋を再建して、空間がなければトンネルを掘らなければなりません。それが真のお母様の心情です。アベルとして再び道を作って直すために投資しなければなりません。ですから、食口に連絡して再度招待してお迎えし、真のお父様10周年の聖和式を準備してください。これは私たちの孝情の祝願です。誠にありがとうございます。☞

# 神中米

1. 出征日時：天一国10年 天曆 6月7日(2022. 07. 05.)
2. 参加人数：計356名



2022年7月5日、オンライン早朝精誠を通して、神中米の食口たちは真のお父様天宙聖和 40日特別精誠 出征礼拝を捧げました。

## ★ キム・サンソク神中米大陸会長の講話



既に、真のお父様聖和 10周年になりました。7月3日、韓国の釜山地域で真のお母様をお迎えし、ビジョン 2027 を必ず勝利することを決意しながら、真のお父様聖和 10周年、40日精誠と特別活動出征式が行われました。世界指導者約300名がインターネット双方向で共に参加する世界出征式として行われました。しかし、神中米大陸では時差上、一日遅れて本日の行事を行うこととなります。

天の父母様の解放と人類救援、平和世界創建のために、最後の瞬間まで「祖国よ、明け来たれ、死生決断、全力投球、実践窮行」を叫びながら祈られた真のお父様

であられました。

現在、釜山市にあるボムネッコール教会は、土で作られた2坪の広さの最初の統一教会でした。ボムネッコールの土屋を建てる時、真のお父様がシャベルや鍬もなく、ひたすらご自身の手で教会を建てました。当時は韓国戦争の時代であり、また初期の統一教会はとても貧しかったからです。それも建てて二度も崩れ落ち、結局三度目に完成した土壁教会でした。

そこで真のお父様は 1951 年 5 月 10 日から原理原本を書き始められ、この原理原本は、今の原理講論が出る前に最初に書かれた原理のみ言だと言えます。翌年 5 月 10 日、原理原本の執筆を終えられ、わずか数ヶ月で 12 人を越える人々が伝道され、その原理のみ言の炎が韓国全域に広がり、それで今は全世界約 190 ヶ国で神様のみ言が伝播されているのです。

真の父母様の汗と涙は、人類救援の結実として現れています。真のお母様はすでに数年前にすべての祝福家庭に「草創期の教会精神に戻り、神霊と真理で神様のみ言を成し遂げなければならない」と語られました。

聖和 10 周年を迎えながら、真のお父様のみ言を必ず叶えて差し上げると誓われながら、砂嵐が吹く荒々しい砂漠で、針一本を探すような切迫した心情で、真のお母様は神様の摂理を行って来られました。「ただ私だけが残ったのです。」という孤独で胸痛い摂理的な事情を持ち、7 年の天宙的カナン路程を通じて勝利された真のお母様に、限りない慰労と感謝をお捧げしなければなりません。

真のお母様は特別に、神統一韓国を通じた神統一世界を成し遂げなければならないと語られました。まず内的には、すべての祝福家庭は神氏族メシヤの使命を通じた天寶家庭となり、天の伝統を立てていく孝情の子女たちになることを願います。そして釜山の巨濟島から出発したピースロードが、天苑団地を通じて南北の国境地帯を直進し、北朝鮮に行くことの出来る「神平和路」を命名してくださいました。真の父母様が地上にいらっしゃる間、天の父母様をお迎えした場で、南北統一を通じて神統一韓国を成し遂げなければならないということです。

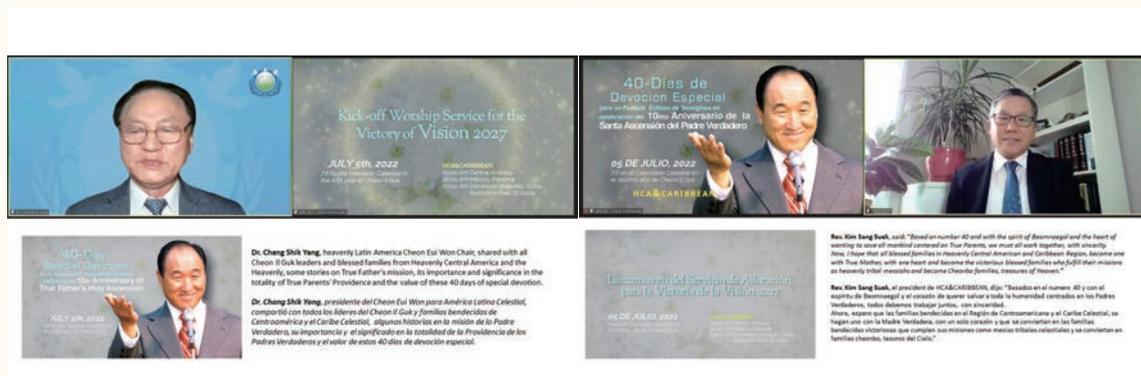
天一国安着時代に、祝福家庭は永遠の地上天国、天上天国の人生を営むことができる天の父母様の真なる子女とならなければなりません。また、天一国の民としての資格を備えた天寶家庭になることが祝福家庭の責任であり、必ず行くべき路程なのです。

真の父母様は神様の解放と人類救援、天一国実現のために真の愛の道を歩んで来られました。私たちの体は神様が住んでおられる聖殿であり(コリント人への手紙第一 3 章 16 節)、私たちの家庭は神様が臨在する天国の場であり、私たちの隣人と社会は神様が運行する共同体で、天の父母様に侍って暮らす個人・家庭・隣人と社会を成し、天一国の資格を備えた天寶家庭にならなければなりません。

神氏族メシヤとして天寶苑に登載され、天寶入籍祝福の場に入ることが、祝福家庭の願いではないでしょうか。しかし、その目標はただ叶うものではなく、真の父母様の人類救援に向けた真の愛の精神で決意する時のみ、神氏族メシヤを通じた天寶家庭として勝利することができるのです。

釜山のボムネッコルから出発した原理のみ言が世界中に広がったように、神中米・カリビアン大陸にいるすべての人々と地域の隣人たちに原理のみ言と人類の救世主であられる、真の父母様を知らせ、教育することが、私たちが果たすべき使命であるということです。

本日の 40 日精誠と特別活動出征式は、真の父母様の人類救援に向けた真の愛の心情と草創期の教会精神を持って、皆が精誠と共に活動をしなければなりません。真のお母様と絶対的に一つになって、神氏族メシヤの使命と天寶家庭を必ず成す、勝利する祝福家庭となることを願います。☞



# 神南米

1. 出征日時：天一国10年 天曆 6月5日(2022. 07. 03.)
2. 出征教会数：19教会
3. 主要参加者：中心食口
4. 参加人数：計1,391名



## ★ キム・ドンウ神南米大陸会長の講話



愛する神南米の食口の皆さん、真のお父様が聖和されてから10周年になる日が近づいています。この日を迎えられる、真のお母様の心情はいかばかりでしょうか。この日を迎える皆さんのご心情はいかがですか？

真のお父様が残された遺業を完成し、地上天国を作るために昼夜を問わず駆けて来られた、真のお母様の前に、真のお母様をより大きな栄光としてお迎えることの出来る基盤を準備することの出来なかった申し訳なさで頭を上げることが出来ないのが私たちの心情でしょう。そんな私たちの境遇を察して下さった真の

お母様は、私たち自身と周りを收拾できるようにと特別40日の恩賜の期間をくださいました。

陽暦8月14日、真のお父様 天宙聖和10周年を迎え、私たち皆は新たな気持ちで、清らかな姿で新たに出発することができるのです。私自身と私たち兄弟の心に影のない、ただ透明できれいな心で、真のお父様の前に、真のお母様の前に、真の子女の姿として立たなければなりません。

現在、お休みしている食口が教会から離れたからといって、休んでいるVIPが摂理機関から離れたからといって、彼らが真の父母様を忘れたわけではありません。ただ影のせいでその心情が隠されているだけです。私たちが彼らの影を取り除き、彼らが再び解放と自由の心情で真の父母様の前に出てくる事が出来るように連結する橋となってあげましょう。

そして皆さんの内で、心に影がある方々がいらっしゃるならば、今回の特別精誠期間を通じてその影をすべて取り除く事が出来るように精誠を捧げてください。それで聖和節の行事には、真の父母様と心情の因縁を結んだ皆が、真のお父様にお会いに行く切実なる心情を持って参加しましょう。そんな私たちとなるならば、天宙聖和10周年の大きな恩賜の中で、神南米全体が飛躍的な発展を遂げる原動力を得ることになるでしょう。

神南米のすべての食口の皆様の勝利を祈り、すべての家庭に天地人真の父母様の祝福と愛が共にあられることを祈ります。ありがとうございます。

# 神アフリカ

1. 出征日時：天一国10年 天曆 6月8日(2022. 07. 06.)
2. 参加人数：計1165名



## ★ ジャン・ピエール、カディマ・ムンダディ神アフリカ大陸会長の講話



親愛なる天一国の指導者、祝福家庭、天の父母様聖会の食口の皆様、お会いできて嬉しいです。真のお父様にお会いするための40日間の準備を始める、非常に重要な行事に参加して下さったことを歓迎し、感謝致します。このような機会をくださった天の父母様と真の父母様に感謝申し上げます。

私たちは皆、もうすぐ真のお母様と共に、真のお父様の聖和10周年を記念します。したがって、私たちは40日間の精誠がこの行事ですべての意味を持つので、私たち自らが内的準備をする必要があります。

皆様ご存知のように、私たちは最近セネガルで指導者集会を開きました。その集会で尹(ユン)本部長を通じて真のお母様の教えを受けました。お母様がアフリカに送られた尹本部長と真のお母様のみ言はとても明確でした。真のお母様は、神アフリカが今、2027年のビジョンに向かって世界をリードし、そのモデルになることを願っておられます。尹本部長は2027年までの60ヶ月間、どのようにすればこれが可能かについて明確な方向を提示されたので、私は与えられた方向に基づいて作られた戦略を皆さんと共有する機会を持ちたいと思います。

60ヶ月は20ヶ月が3回の段階に分けられています。最初の20ヶ月間はデータ収集に集中します。本部長が強調されたように、教会の成長と発展を観察するためには明確なデータベースが必要です。私達食口は何人ですか。彼らの内、正会員ではない人が何人いますか？そして平和協力のために、私たちは彼らを私たちのデータベースに登録しなければなりません。そうすれば、私たちはいつでも神アフリカ人口の3分の1に到達する上で、どれだけ進展しているのか、特に中央、下位地域人口の3分の1に到達していることが分かります。

2番目の20ヶ月は、天賣家庭のために伝道し、教育することに焦点を合わせます。大規模な伝道活動戦略のために、私たちは宗教指導者とその他の協会に焦点を合わせる計画です。最初の目標は私たちが彼らを伝道するようになれば、彼らが先に彼らの構成員の擁護者となり、次第に天賣家庭になるのです。

最後の20ヶ月は、今まで伝道したすべての宗教家と協力してアフリカ・ユニオンの一員になることの出来る、地域レベルの宗教諮問を作る計画です。これは私たちが、アフリカ・ユニオンの決定に影響を及ぼすことを願う通路となり、毎年アフリカの祝福の日を記念するでしょう。

これが私たちの計画です。したがって、私はデータベースコレクションについてもう一度強調したいと思います。

います。これは現在の指導者全員が、私たちが正しく成長し、人口の3分の1に及ぶ発展への、明確で正直な結果を提示するための最も重要な第一歩であることを理解しなければなりません。伝道をしましょう。私たちは皆伝道をしなければなりません。40日精誠期間が始まりましたが、じっと座ってはいけません。今は私たちが積極的に動いて伝道しなければならない時期ですが、活動していない祝福家庭も知っています。私たちはそのすべての人々を再び呼び集めなければならず、真のお父様の聖和式を記念するのです。これは真の父母様に対する関心を呼び起こすでしょう。

最後に、真のお父様の本郷苑の写真を共有したいと思います。真のお母様はお父様の聖和後、絶えず精誠を捧げられ、アメリカで真のお父様と同じ路程を歩まれ、当時真のお父様と一緒に登頂した12の山をすべて登られました。このすべては2020年以降現在まで、私たちが取めたすべての勝利を準備するために捧げた精誠でした。ですから私たちは、真のお父様が真のお母様と共に役事しておられ、真の父母様が一つとなっていっしょということが分かります。真のお母様と共に、真のお父様のリーダーシップが率いる基盤を記憶し、40日間の路程の末に奉獻することができるようにしましょう。ありがとうございます。



# 真の父母様の生涯年表

文鮮明天地人真の父母様の御生涯は、世界平和創建と人類大家族の実現のための真の愛の大長征でした。16歳で人類救援の天命を受けて出発された文鮮明先生は、理想家庭を通じた平和世界実現の道を開かれ、人類の真の父母であり、真の師、平和の王とられました。

1943

- 韓鶴子真のお母様聖誕(平安南道安州)

1946

- 平壤宣教中、  
スパイ容疑で大同保安署に拘束、釈放

1951

- ポムネツコルから韓国宣教に出発

1952

- [原理原本]執筆完了

1920~1930

## 真の父母様御聖誕と摂理的準備時代

1920

- 文鮮明真のお父様聖誕(平安北道定州)



1935

- 真のお父様、イエス様との出会いと使命を引き継ぐ



1940

1947

- 金元弼(キム・ウオンピル)、玉世賢(オク・セヒョン)、金仁珠(キム・インジュ)、



- 車相淳(チャ・サンスン)、鄭達玉(チョン・ダルオク)、池承道(チ・スンド)を伝道

1948

- 共産当局の宗教弾圧により、興南監獄に収監

1950

1954

- 「世界基督教統一神霊協会」創立



1956

- 真のお父様と真のお母様の初めての出会い(ソウル青坡洞:真のお父様、真のお母様、洪順愛(ホン・スネ)大母様)

1957

- 真のお父様地方巡回(釜山、大邱、大田、全州)
- 野牧メソジスト信徒約120人、統一教会に団体改宗
- 全食口冬季40日伝道
- 【原理解説】初版発行

1958

- 世界宣教に出発

1959

- 統一産業創業

## 眞の父母様の御聖婚と摂理基盤の構築

1960

- ・3家庭祝福結婚式
- ・眞の父母様聖婚(陰曆 3.16)



1961

- ・全国啓蒙地域を巡回
- ・33家庭祝福結婚式
- ・日本初の夏季開拓伝道(9地区)
- ・成和出版社設立

1965

- ・第一回世界巡回出発



- ・8カ所の聖地祝福全国巡回、世界40カ国歴訪120カ所の聖地のうち105カ所の聖地選定
- ・北米巡回、中南米、欧州、中東巡回、アジア、日本巡回(世界聖地選定)
- ・アイゼンハワー元米大統領表敬訪問
- ・宣教国拡大(日本、米国)および体系化



1970

- ・国際勝共連合第一回アジア勝共大会
- ・九里中央修練院開院
- ・777双祝福結婚式

1971

- ・清平修練院完成



- ・第三次世界巡回出発(15カ国156日)
- ・「(株)一和製薬」設立

1972

- ・統一神学校開校(1986年に開校した成和神学校と1988年統合、1989年に成和大学に校名変更後、1994年、鮮文大学に校名変更)
- ・日本、統一十字軍 12団結成
- ・ヨーロッパ、世界統一十字軍編成(IOWC)
- ・世界勝共決起大会

## 1960

1962

- ・72家庭祝福結婚
- ・心霊大復興会
- ・地方聖地選定と全国成和学生総会(ユ・ヒョミン、ユ・ヒョヨン、ムンソンギョン帯同)
- ・40日啓蒙伝道(1963年まで約4000カ所で実施)
- ・大韓子供舞踊団(リトル・エンジェルス芸術団)創立

1963

- ・124双祝福結婚式
- ・日米の宣教拡大とドイツ開拓伝道
- ・全世界の聖地選定
- ・全国特別復興会
- ・既成家庭祝福結婚式および独身祝福結婚式

1964

- ・全国巡回原理大講演会、崔元福(チェ・ウォンボク)、金永雲(キム・ヨンウン)帯同

1966

- ・冬季40日伝道
- ・ソウル7カ所の聖地を祝福することで、世界120カ所の聖地選定完了
- ・「全国大学原理研究会(CARP)」創設
- ・共産主義問題と勝共運動
- ・「原理講論」発行
- ・「キリスト教超教派運動本部」創設(以後、超教派キリスト教協議会に変更)

1967

- ・京畿道八堂と清平野外テント生活(釣り精誠)

## 国際活動の基台造成

1968

- ・「国際勝共連合(IFVOC)」創設
- ・430双祝福結婚式

1969

- ・第2回世界巡回(21カ国) 出発
- ・全国成和大学生総会
- ・韓国文化財団の創設
- ・10カ国43双祝福結婚式

## 1970

- ・「統一思想研究院」創設
- ・「韓国チタニウム工業株式会社」設立
- ・第四次世界巡回出発
- ・第一回「科学の統一に関する国際会議(ICUS)」開催

1973

- ・「世界平和教授アカデミー(PWPA)」創設
- ・アメリカ21カ都市巡回講演会
- ・「国際文化財団(ICF)」創設
- ・アメリカの21カ都市で講演とウォーターゲート宣言
- ・リトル・エンジェルス芸術学校設立(以後、仙和芸術学校に校名変更)

1974

- ・アメリカのニクソン大統領とホワイトハウスで要談



- ・アメリカ32カ都市巡回講演
- ・海洋産業の開拓
- ・ニューヨーク、マディソン・スクエア・ガーデン「希望の日」大講演会と7カ都市講演会



- ・「キリスト教超教派運動本部」の名称を「超教派キリスト教協会」に変更
- ・ - 世界宣教の拡大

### 1975

- ・汝矣島救国世界大会(100万人)
- ・アメリカ、統一神学大学院(UTS)設立
- ・韓国・日本「希望の日」大講演会
- ・1800双国際祝福結婚式
- ・救国世界大会

### 1980

- ・「南北米統一連合(CAUSA)」創設

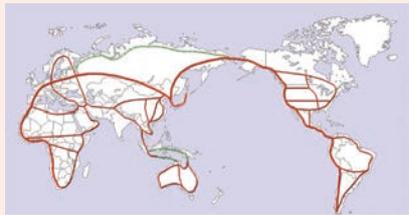
### 1981

- ・「国際キリスト教教授協議会(ICPA)」創設
- ・「歴史編纂委員会設立」(2016年、「鮮鶴歴史編纂苑」に改名)

### 冷戦終息と平和世界の基盤を構築

### 1982

- ・ワシントンタイムズ(米ワシントンDC総合日刊紙)創刊
- ・国際平和高速道路(日韓海底トンネル)の構想を発表



- ・2075双国際祝福結婚式、6000双国際祝福結婚式

### 1983

- ・「国際宗教財団(IRF)」設立

### 1990

- ・ソ連のゴルバチョフ大統領と単国会談



- ・ユニバーサル・バレエアカデミー(UBA)設立
- ・「国際教育財団(IEF)」設立

### 1991

- ・北朝鮮の金日成(キム・イルソン)主席と会談



## 1970

- ・21カ国の世界勝共大会
- ・米議会、真のお父様招請講演

### 1976

- ・学校法人 仙和学園設立
- ・全国58市・郡対象「希望の日」大饗宴
- ・平和問題国際学術会議
- ・ニューヨーク・ニューヨーカーホテル買収(世界宣教本部)
- ・国際救護親善財団(IRFF)創設
- ・ニューヨーク・ヤンキーススタジアム(5万人)、ワシントンモニュメント広場(30万人)で講演
- ・米国の総合日刊紙「News World」創刊(1983年、ニューヨーク・シティー・トリビューンに変更)

### 1977

- ・仙和芸術高等学校設立
- ・「世界宣教本部」設立

### 1978

- ・第一回「世界言論人会議」開催
- ・景福小学校引き継ぎ

## 1980

### 1984

- ・米ダンバリー連邦刑務所収監(1985、出監)



- ・「ユニバーサル・バレエ団」創団

### 1985

- ・共産主義の終焉宣言
- ・「世界宗教議会」創立総会

### 1987

- ・韓国、「南北統一運動国民連合」創設大会
- ・「世界平和頂上会議」創設大会

### 1988

- ・6500双国際祝福結婚式

### 1989

- ・「世界日報」(韓国ソウル総合日刊紙)創刊
- ・1275双国際祝福結婚式
- ・「ユニバーサル・バレエ学院」開院
- ・「一和天馬サッカーチーム」創設

## 1990

- ・「世界経典」出版
- ・「世界平和宗教連合(IRFWP)」創設

### 世界平和統一家庭連合の創立と成約摂理完成

### 1992

- ・米国ブリッジポート大学を買収
- ・「世界文化体育大展」開催
- ・「世界平和女性連合(WFWP)」創設



- ・3万双国際祝福結婚式



### 1993

- ・米議会での真のお父様招請講演、国連本部での真のお母様招請講演



### 1994

- ・世界平和青年連合(YFWP)創立
- ・支援奉仕団体「愛苑(AEWON)」設立

### 2000

- ・真のお母様、世界巡回講演(61都市)
- ・「鮮苑建設」創立
- ・セントラルシティー買収
- ・国連演説「国連更新と平和世界建設」
- ・4億双第一次国際祝福結婚式
- ・ブラジル、ソコカバサッカーチーム引き継ぎ
- ・学校法人「清心学園」設立
- ・

### 神様の王権樹立と天一国時代の準備

### 2001

- ・神様王権即位式



- ・アメリカのキリスト教牧師と真の父母様、アメリカ50州を巡回講演
- ・世界宗教指導者 祝福結婚式

### 2004

- ・「蒙古斑同族世界平和連合(MPFWP)」創立
- ・4億双第五次国際祝福結婚式
- ・清心青少年修鍊院奉獻式(2019年、孝情文和苑に変更)
- ・平和の王戴冠式
- ・「国連平和軍聖戦追悼連合会(UPKMF)」創立
- ・「(株)平一企画」設立

### 2005

- ・清心ビレッジ奉獻式
- ・「天宙平和連合(UPF)」創設および120都市巡回講演



- ・4億双第六次国際祝福結婚式

## 1990

### 1995

- ・世界巡回講演(16カ国)
- ・新しい農場宣言(ジャルジン第一宣言以降、第七宣言まで宣布)
- ・真の父母様、中南米巡回講演(17カ国)
- ・36万双国際祝福結婚式

### 1996

- ・「世界平和統一家庭連合(FFWPU)」創設
- ・世界巡回講演(22カ国43都市)

### 1997

- ・「世界平和武道連合(MAFWP)」創設
- ・「韓国青少年純潔運動本部」創設
- ・4000万双国際祝福結婚式

### 1998

- ・3億6000万双第一次国際祝福結婚式
- ・み言訓読大会(韓米日45都市)

### 1999

- ・3億6000万双第二次国際祝福結婚式
- ・世界平和超宗教超国家連合(IIFWP)創設
- ・ブラジル、セネ・サッカーチーム創団

## 2000

- ・4億双第二次国際祝福結婚式
- ・神様祖国定着大会
- ・本殿聖地(天正宮)および超宗教神学大学院大学校建設起工式

### 2002

- ・真の父母様、清平開発プロジェクトを「天苑」と命名
- ・米国聖職者協議会(ACLIC)本部奉獻式
- ・鮮文ピースカップ創設
- ・北朝鮮平和自動車竣工
- ・4億双第三次国際祝福結婚式

### 2003

- ・天地父母様天一国開門祝福聖婚式
- ・「龍平リゾート」引き継ぎ
- ・2003ピースカップ・コリア国際サッカー大会
- ・「超宗教超国家平和議会(IIPC)」創設
- ・清心神学大学院大学校開校(2016年、鮮鶴UP大学院大学校に校名変更)
- ・清心幼稚園開園
- ・清心国際病院開院
- ・4億双第四次国際祝福結婚式

### 2006

- ・清心国際中学校設立
- ・天宙平和の王真の父母様天正宮博物館入宮・戴冠式



- ・「アーメン」→「アヂュ」に宣布
- ・一和天馬女子サッカー団創団とピースクインカップ

### 2007

- ・「アベル国連」創設(ニューヨーク)
- ・神様祖国光復出帆天宙連合大会
- ・真のお母様、アメリカ12カ都市巡回
- ・太平聖代平和交叉・交体祝福結婚式

### 2008

- ・神様祖国光復最後宣言大会
- ・「平和統一財団」発足(2005年のペーリング海峡プロジェクト以後、2011年「世界平和トンネル財団」に名称が変更)

- ・龍平リゾートウォーターピア買収及び「ジ・オーシャン・リゾート」奉獻式
- ・「清心平和ワールドセンター」建設

## 2009

- ・万王の王神様解放圏戴冠式
- ・真のお父様の自叙伝「平和を愛する世界人へ」出版
- ・10.14 真の父母様天宙祝福結婚式
- ・真の父母様聖婚第50回金婚式

## 2010

- ・天地人真の父母定着実体み言宣布天宙大会(米国11カ国)
- ・「天福宮(世界本部教会)」奉獻式
- ・真の父母様最終一体完成・完結・完了宣布

## 2011

- ・巨文島、「海洋天正宮ホテル」奉獻式
- ・神様の祖国と入籍出帆大会

## 2012

- ・麗水「ジ・オーシャンホテル」奉獻式
- ・天地人の真の父母勝利解放完成開門時代祝福結婚式
- ・強い大韓民国汎国民運動本部出帆大会
- ・アベル女性国連創設大会

- ・天地人真のお父様最後の祈禱「すべて成し遂げた」宣布

## 文鮮明 天地人真の父母様 聖和

天基3年天曆7月17日(2012. 陽 9.3) 早朝1時54分、神様が墮落人間を救援するためにこの地に送られた救世主メシヤ、再臨主真の父母、万王の王であられる文鮮明天地人真の父母様が一生涯神様の救援摂理を陣頭指揮される中、地上生活を終えられて霊界に入籍されたことで、天宙史的な聖和をされました。

文鮮明天地人真の父母様は16歳の時、神様から天命を受けられた後、93年の御生涯を神様の解怨と人類解放、そして恒久的な平和世界の具現を旗に掲げ、神様の聖業を全うするため、死を辞さずに生きて来られました。聖和される前に、地上における最後の祈禱で、天のみ旨を「すべて成し遂げた!」と宣言されたことで、神様の聖業を成功的に完成・完結・完了されたことを明らかにされ、天上の道を行かれました。

文鮮明天地人真の父母天宙聖和式は、天基3年天曆7月29日(9.15)午前10時、

世界の前・現職の首脳および平和指導者約300人をはじめ、国内外の貴賓、統一家の公職者と食口約35000人が参加する中、清心平和ワールドセンターと清平聖地全域で行われました。

天宙聖和式の、すべての礼式は文鮮明天地人真の父母様を人類の真の父母、万王の王として手厚く侍る精誠の中、聖和から最後の聖和式と原殿式に至るまで、天地人真の父母様に栄光を捧げる、最高の儀式として厳粛かつ敬虔に執り行われました。



## 2010



## 真のお母様の侍慕精誠

### 2012

- ・文鮮明天地人真の父母様 天宙聖和
- ・文鮮明天地人真の父母様 天宙聖和原殿式
- ・真のお母様、天基3年総解怨秋夕節 本郷苑参拜式
- ・真のお母様、文鮮明天地人真の父母様 天宙聖和40日礼拝
- ・基元節勝利のための世界指導者特別集会(中断なき前進)
- ・真のお父様聖和式弔慰金約5000万円を恵まれない人々のために寄付
- ・秋夕節参拜式、文鮮明天地人真の父母様天宙聖和40日礼拝
- ・真のお母様、米大陸横断摂理

## 天一国時代の確立

真のお父様は今霊界で私たちといつも共にいらっしゃいます。ただ、無形でいらっしゃるだけであって、一瞬も私たちの側を離れられることはありません。今、私たちに何を望んでおられるのでしょうか？それは中断なき前進です。

### 2013

- ・全国食口連合礼拝
- ・「天の父母様」の名称を使用、「天基」を「天一国」、「天基4年」を「天一国元年」、天一国歌の制定を発表
- ・天地人真の父母様天一国即位式および天一国基元節入籍祝福式



- ・2013 天地人真の父母天宙祝福結婚式



## 氏族的メシヤの摂理出発

### 2014

- ・天一国基元節一周年記念式、天地人真の父母天宙祝福結婚式
- ・(天一国経典、『真の父母経』奉呈、「天一国憲法」制定・発布)
- ・「圓母平愛財団」第二期奨学証書授与式
- ・北米「海洋摂理本部」竣工式
- ・世界本部及び総裁秘書室の看板上掲式
- ・スイス・アルプス山12峰登山特別精誠
- ・真の父母様歴史記録院奉献式

- ・ネパール緊急救護寄付金100万ドル支援
- ・真のお母様、世界巡回
- ・真のお母様、真のお父様天宙聖和1000日記念礼拝
- ・「ピースロード(Peace Road)2015」世界出発式(アメリカ)
- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和三周年記念式
- ・2015 秋季清平特別大役事天地人真の父母様特別集会
- ・「World Summit 2015」

## 2010



- ・天宙平和士官学校(UPA)第一期入学式
- ・「圓母平和財団」出帆式(2016年、孝情世界平和財団に名称変更)、鮮鶴平和賞制定
- ・協会創立第60回および天一国経典『天聖經』・『平和経』の出版記念式
- ・VISION2020トップガン21教育
- ・全国牧会者総会:VISION2020出征式
- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和一周年記念式
- ・フィリピンの台風被害寄付金を伝達

- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和二周年記念式
- ・VISION2020勝利と神氏族メシヤの使命完遂のための世界連合礼拝
- ・「クレインズクラブ(The Cranes Club)」創設大会

## 侍墓精誠終了および7カ国復帰宣布

真のお父様の天宙聖和以降、真のお母様は天の父母様を中心に天上の真のお父様と三位一体を成される中で、三年の侍墓精誠を捧げられました。真のお母様はこの三年間の侍墓精誠は私だけの精誠ではありません。これは天の父母様を中心に、天上の真のお父様と地上の真のお母様が一体となって三位一体となり、この三年の侍墓精誠を捧げたものです。」と語られ、孝情の永遠なる伝統を立てられました。

### 2015

- ・天一国基元節二周年記念式および天地人真の父母天宙祝福式
- ・バヌアツ世界平和統一家庭連合UPFサイクロン被害復旧支援
- ・真の父母様聖婚55周年およびヨーロッパ宣教50周年祝賀晩餐会

- ・天一国経典『真の父母経』出版記念式
- ・第一回鮮鶴平和賞授賞式
- ・真の家庭価値運動20周年記念式(ラスベガス国際平和教育院)

## 伝道/環境創造

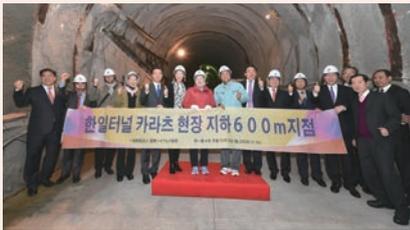
### 2016

- ・天地人真の父母様聖誕記念および天一国基元節三周年記念行事および2016 天地人真の父母天宙祝福式
- ・天地人真の父母様主管HJ天苑特別修練会「2016 Global Top Gun Youth」開会式
- ・世界平和国会議員連合(IAPP)創立



- ・ヘブンGバーガー(HeavenG.Burger)清平本店 奉献式

- ・熊本地震、緊急義援金を寄付(約5000万円)
- ・CARP創立50周年記念「2016 CARP総会」
- ・天地人の真の父母聖婚56周年記念式
- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和4周年記念式
- ・鮮鶴歴史編纂苑奉献式(歴史編纂委員会名称を改名)
- ・愛天・愛人・愛国 2016希望ドリームカンファレンス
- ・日韓海底トンネル、九州・佐賀県唐津の現場視察



### 未来人材養成

#### 2017

- ・天地人真の父母様聖誕記念および天一国基元節四周年記念行事

- ・「世界平和宗教人連合(IAPD)」創設
- ・神韓国、神日本、神アメリカ家庭連合の発足

### 神韓国、復帰摂理定立

#### 2018

- ・2018 天一国指導者新年特別集会
- ・真の父母様主管アジア・太平洋希望前進大会
- ・「ワールドサミットアフリカ2018」および「天地人真の父母様 アフリカ解放・解怨式」



- ・天地人真の父母様聖誕および基元節5周年記念行事
- ・2018 Famicon 神アメリカ家庭連合指導者会議
- ・Peace Starts with Me VIENNA 2018

- ・文鮮明天地人真の父母 天宙聖和6周年記念聖和祝祭および2018天地人真の父母孝情天宙祝福式
- ・真のお母様、ジンバブエ希望前進大会「Peace and Family Festival」祝福式
- ・真のお母様、「2018 アジア・太平洋サミット」開会式および平和家庭フェスティバル祝福式
- ・西日本集中豪雨被害緊急義援金寄付(約2000万円)

真のお母様は真のお父様の天宙聖和以降、真のお父様に「命が尽きる日まで、天一国安着の聖業を成して差し上げます」と誓われ、一日を千年のように過ごし、世界の摂理現場で中断なき前進をして来られました。

「まるで荒漠とした砂漠で、砂嵐が吹いてくるのに目を開けることの出来ない環境で小さな針一本を探さなければならない心情」で血と汗と涙の路程を歩まれ、全人類が天の父母様の下人類一家族の理想を成し遂げた創造本然の姿を備えることができるように導いておられます。

## 2010

- ・天地人真の父母様聖婚57周年記念式
- ・世界平和青年学生連合(YSP)総会および出征式



- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和5周年記念式および2017天地人真の父母孝情天宙祝福式
- ・希望大韓国! 対国民和統一前進大会
- ・HJ天苑団地造成および天地鮮鶴苑建設起工式



- ・真の父母様聖婚58周年記念式
- ・2018 天運相続つじ祝祭孝情清平特別大役事
- ・神日本希望前進決起大会



- ・神ヨーロッパ希望前進決起大会
- ・天地人真の父母様主管 祖国光復 神統一韓国のための指導者特別集会
- ・神中南米希望前進決起大会

### - 7カ国復帰、新大陸の開門

#### 2019

- ・神統一韓国時代開門汎国民祈祷会



- ・世界聖職者協議会(WCLC)創立
- ・ワールドサミット2019開会式および世界平和頂上連合(ISCP)出帆式
- ・天地人真の父母様聖誕および基元節6周年勝利記念神統一韓国国民連合出征式
- ・天地人真の父母様主管天一国指導者特別集会
- ・天寶苑、孝情カフェグランドオープン式
- ・2019 天運相続 国運隆盛 神統一韓国時代開門安着 希望前進大会
- ・天地人真の父母様主管 神韓国 CARPビジョン2020勝利のためのKTGY出征式

- ・「2019 ACLC特別総会」及び「Unity Convocation」
- ・Africa Summit and Leaders Conference 2019
- ・真のお母様、南アフリカ共和国孝情家庭祝福フェスティバル
- ・神アメリカ希望前進大会 Peace Starts with Me Unity Festival
- ・2019 忠清圏孝情真の家庭希望フェスティバル
- ・真のお母様、文鮮明天地人真の父母天宙聖和7周年記念孝情天寶特別大役事および聖和祝祭
- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和7周年記念聖和祝祭



・Africa Summit 2019 開会式



### 神統一韓国の基盤造成 2020

- ・天地人真の父母様 天一国安着のための第一次天宙的カナン40日世界巡回路程大勝利報告大会
- ・HJスペシャルトップガン&ユースキャンプ特別集会
- ・天寶原聖酒祝禱式
- ・真のお母様、韓鶴子総裁自叙伝出版記念および「マザーファウンデーション」創立式

- ・天勝殿グランド奉獻式および韓園チブ奉獻式



## 2010

- ・2019 南北統一希望前進大会
- ・東南ヨーロッパ平和サミット2019開会式および世界平和頂上連合東南ヨーロッパ創立式
- ・孝情郎真の父母様特別集会
- ・「アジア・太平洋サミット2019 カンボジア」
- ・世界平和華人連合2019 世界大会(台湾台北)
- ・南アフリカ共和国「2019 アフリカ大陸サミット孝情家庭祝福祝祭」



- ・神統一世界のための世界キリスト教聖職者希望前進大会

## 2020



- ・真のお母様、ワールドサミット2020 世界平和頂上連合(ISCP)総会
- ・世界平和青年学生連合(IAYSP) 世界総会および鮮鶴奨学証書授与式
- ・天地人真の父母様聖誕100周年および天一国基元節7周年記念式
- ・ビジョン2027勝利のための天一国8年第二次天一国指導者特別会議、天の父母様聖会出発
- ・文鮮明天地人真の父母天宙聖和8周年記念天寶大祝祭及び2020特別祝福式
- ・2020祝勝会および2027出征式
- ・神統一世界安着のための第二回オンライン100万希望前進大会

- ・真のお母様、文鮮明天地人真の父母天宙聖和8周年記念天寶大祝祭および2020特別祝福式



- ・天苑宮天苑教会 天城旺臨宮殿移転記念特別礼拝
- ・第三回オンライン100万希望前進大会



## 神統一韓国政策の樹立

2021

- ・2021天一国指導者総会および新年賀礼会
- ・神統一韓国安着のためのオンライン希望前進大会(神慶尚国、神全羅国、神京仁国、神忠清国)
- ・天の父母様総会 神統一世界安着のための神日本希望前進礼拝(第一地区~五地区)



- ・天地人真の父母様聖誕記念敬礼式
- ・HJマグノリアミミズク画廊、カフェ、富興家具、HJ富興百貨店奉献式
- ・天地人真の父母様聖誕および基元節8周年記念式
- ・第五回神統一世界安着のための希望前

## 神統一韓国希望前進

- ・神統一韓国のためのThink Tank 2022出帆 希望前進大会



- ・神統一韓国安着のための天地人真の父母様特別集会
- ・天の父母様聖会孝情ヌリ成和子女礼拝
- ・真のお母様、文鮮明天地人真の父母天宙聖和9周年記念式

- ・韓半島平和サミット勝利 神統一韓国のための真の父母様特別集会



- ・天地人真の父母様天宙聖婚62周年記念 2022天地人真の父母様孝情天宙祝福祝祭
- ・「天苑宮」勝利奉献決意式



- ・世界平和女性連合創立30周年記念式

## 2020

進大会

- ・天地人真の父母様天宙聖婚61周年記念 2021天地人真の父母孝情天宙祝福祝祭
- ・天地人真の父母様天宙聖婚61周年記念 天苑宮上樑式



- ・HJファミリアカフェ奉献 未来世代孝情文化出征式



- ・天寶家庭孝情証詞大祝祭
- ・神統一世界安着のための天一国指導者総会
- ・THINK TANK 2022 希望前進大会
- ・第二回天寶大祝祭
- ・真のお母様、ポーラ・ホワイト牧師招請懇談会
- ・神統一韓国のための救国救世祈祷会

2022

- ・特別集会および新年賀礼会
- ・第二回神統一韓国のための救国救世祈祷会
- ・天地人真の父母様聖誕記念式
- ・第五回鮮鶴平和賞授賞式
- ・World Summit 2022 韓半島平和サミット 頂上レセプション

- ・世界指導者特別集会
- ・第八回天の父母様聖会孝情ヌリフェスティバル
- ・發旺山 HJモナパーク 千年樹アララギ・森の道奉献式
- ・真のお母様、Vision2027勝利のための神韓国指導者特別集会
- ・真のお母様、真のお父様 天宙聖和10周年聖和祝祭勝利のための40日特別活動出征礼拝

# 加平郡 「平和路」 名誉道路名 除幕式



2022年6月25日、朝鮮戦争72周年を迎え、参戦勇士の犠牲と献身を永遠に記憶するために、6月25日午前、英連邦参戦記念碑の前で「平和路」名誉道路名除幕式が行われた。

UPF 加平支部が主催し、加平郡平和大使協議会が主管したこの日の行事には、ユク・ドス平和大使協議会会長、パク・サンソン顧問、イ・ジョンヒョ UPF 支部長、キム・ソンギ郡守、チェ・チュンシク国会議員、イム・グアンヒョン道議員当選者、チェ・ジョンヨン郡議員および郡議員当選者など約100人が参加して記念式と除幕式が行われた。

この日、キム・ソンギ加平郡守は「加平は朝鮮戦争で激しい戦闘が行われた場所で、韓国軍とともにアメリカ・イギリス・オーストラリア・カナダ・ニュージーランドなどから派兵された軍人たちの献身と犠牲によって守られた所」だとし「名誉道路名としてつけられた「平和路」の名前で、彼らの犠牲を永遠に記憶し忘れないようにする」と伝えた。

チェ・チュンシク国会議員は「朝鮮戦争72周年を迎え、「平和路」の制定で歴史的教訓と価値にもう一度スポットをあて、市民意識として引き継いで発展させられることを期待し、加平郡民が自負心と誇りをより高める契機になることを願う」と祝辞を伝えた。

ユク・ドス平和大使協議会会長は、歓迎の辞で「朝鮮戦争の時、数多くの国内外の傭兵が大韓民国の平和を護るために

魂を捧げた加平戦闘は、参戦碑および戦績碑が16カ所に及ぶくらい、世界平和の聖地と言える」と語った。

また、ユク・ドス協議会会長は「加平の平和路が大韓民国の統一と世界平和のための核心軸として国際平和観光の加平市になる起爆剤となってくれると信じている」と伝えた。

今回新たに名誉道路名がつけられた「平和路」は、加平邑湖畔路2546から北面華岳山路168までの約12kmの区間で、この区間には顕忠塔と英連邦参戦記念碑など、8つの朝鮮戦争参戦記念碑が位置している。📍



